

# 最近の経済動向

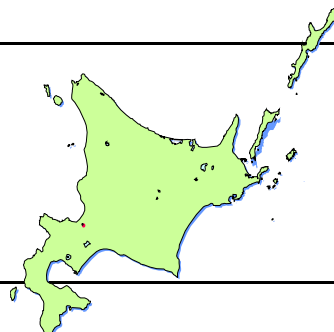
平成26年1月号

本道経済は、緩やかに持ち直している

## 北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



## 需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ～ 持ち直している

P 7 ■住宅建設 ～ 持ち直しの動きが鈍化している

P 8 ■公共工事 ～ 増加している

P 8 ■観光 ～ 緩やかに回復している

## 企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ～ 持ち直しの動きに足踏み感がみられる

P 10 ■電力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を上回った

P 12 ■輸出入 ～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

P 13 ■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに改善している

P 17 ■物価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

## 地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/>

## ■ 企業のみなさまから伺いました

### ◆ 百貨店（12月）

---

#### 【引き続き高額品の売上が好調】

売上は、特選海外ブランド、宝飾・高級時計等が前年を大きく上回った。

高額品の売上げが引き続き好調に伸びていることが、全体の売上をけん引した。また、外国人観光客の売上も引き続き大きく伸びた。

#### 【クリスマス関連の売上げが好調】

クリスマスケーキの売上は前年を上回って好調だった。また、クリスマスギフトの動きではアクセサリー等の売上がよかった。

お歳暮、おせち料理は11月が好調だった反動で12月はやや減速したもののトータルでは前年を上回った。

## ◆スーパーマーケット（12月）

### 【天候不順等の影響で野菜や果物の価格高騰が続く】

野菜は、前月に引き続き、天候不順等の影響により品不足となっており、相場は高騰したままで推移し、特に主要品目の単価が上昇している。

このため、販売数量が伸び悩む状態であるものの、主要品目であるきゃべつ、たまねぎ、じゃがいも、にんじん等の売上が伸長し、野菜全体の売上也前年を上回った。

また、果物も価格の高騰が続いており、みかんは前年を上回る好調の売上げであったが、収穫量が少なかった梨や品質の劣化が目立った柿は、販売数量が減少し、売上は前年を下回った。

### 【肉の売行きが好調】

肉食傾向が上がったためか、スキヤキ肉や焼肉用のパーティメニューが好調に推移した。クリスマス・年末ともに好調に推移し、肉全体でも前年を上回った。

なお、鶏肉はワンランク上の商品が好調であった。

## ◆コンビニエンスストアー（12月）

---

### 【暦の並びと天候に売上が左右された】

昨年より平均気温が高温で推移し、下旬までは降雪も昨年より少なかったことから、来客数は対前年比並みとなり、顧客の戻りがあったと考えている。

ボーナス支給週である第2週（12/9-15）に天候が芳しくなかったことが、顧客の動きを鈍らせたため、売上の伸び悩みに繋がったようである。

また、今年はクリスマスイブが平日となったため、休日より平日の方が多くの来店客があるコンビニ業界にとっては、百貨店やスーパーなどと比較して有利な展開となった。

年末年始の休みが長かった影響で、海外や国内に長期の旅行に出る方も多かったとみられ、こちらは来店数を減少させる要因となった。

これらの状況から、売上が総合的にみると、暦の並びと天候の影響を強く受けた展開となった。

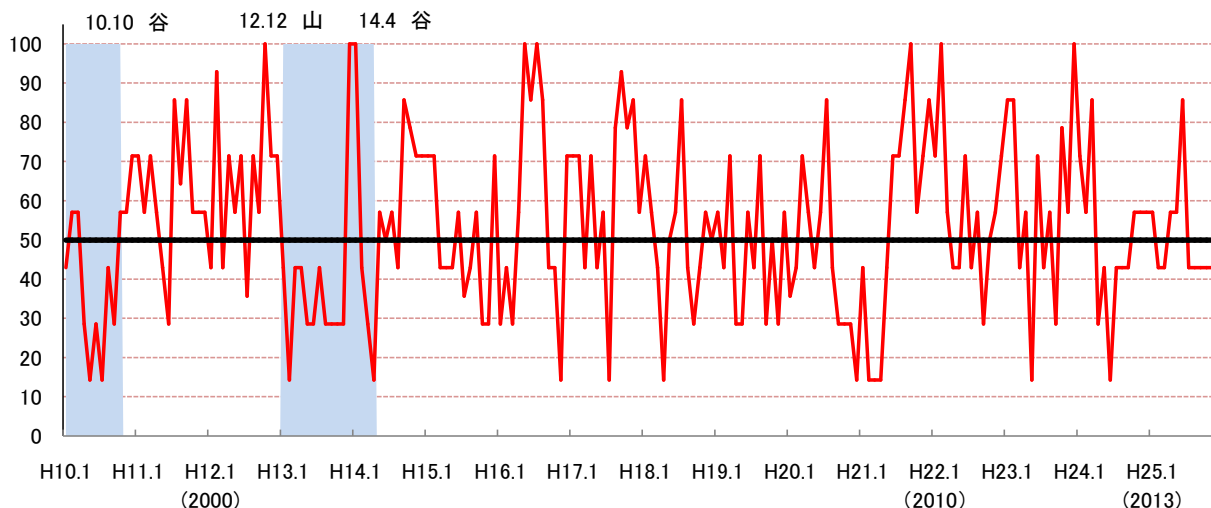
なお、ここ最近の傾向として、正月期間であっても、通常の商品が通常どおりに売れている傾向があり、正月というものが、あまり特別な休日ではなくなっている印象がある。

### 【競争環境の激化】

スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどがコンビニの利便性を取り入れた店作りを始めていることにより、同業に加え、他業態との競争が激化していることも、売上が伸び悩む原因となっている。

## ■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		24/11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	+	+	0	-	-	+	-	-
	生産指数(生産財)	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	p+
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	+
	新設住宅着工戸数	+	+	-	-	-	-	-	+	-	+	+	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-
	企業業況判断D.I.	0	0	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
	拡張系列数	3.5	4.5	2	3	2	3	4	4.5	3	4	5	4	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	50.0	64.3	28.6	42.9	28.6	42.9	57.1	64.3	42.9	57.1	71.4	57.1	p 57.1
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	+	+	+	-	-	+	+	-	+	-	p+
	出荷指数(生産財)	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	p+
	大口電力使用量	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+
	百貨店販売額(既存店)	+	+	-	-	+	+	+	+	-	+	-	+	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	+	-	-	-	+	-	-	-	-	+	p-
	拡張系列数	4	4	4	3	3	4	4	6	3	3	3	3	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	57.1	57.1	85.7	42.9	42.9	42.9	42.9	p 42.9
遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	+	+	+	+	+	+	0	+	+	0	0
	消費者物価指数(総合)	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	生産指数(資本財)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	p-
	拡張系列数	2	2	3	3	1	2	2	3	1.5	3	4	4.5	2.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	40.0	40.0	60.0	30.0	60.0	80.0	90.0	p 62.5

(注) 1 北海道総合政策部政策局経済調査課 試算。Pは速報値(以下同様)。

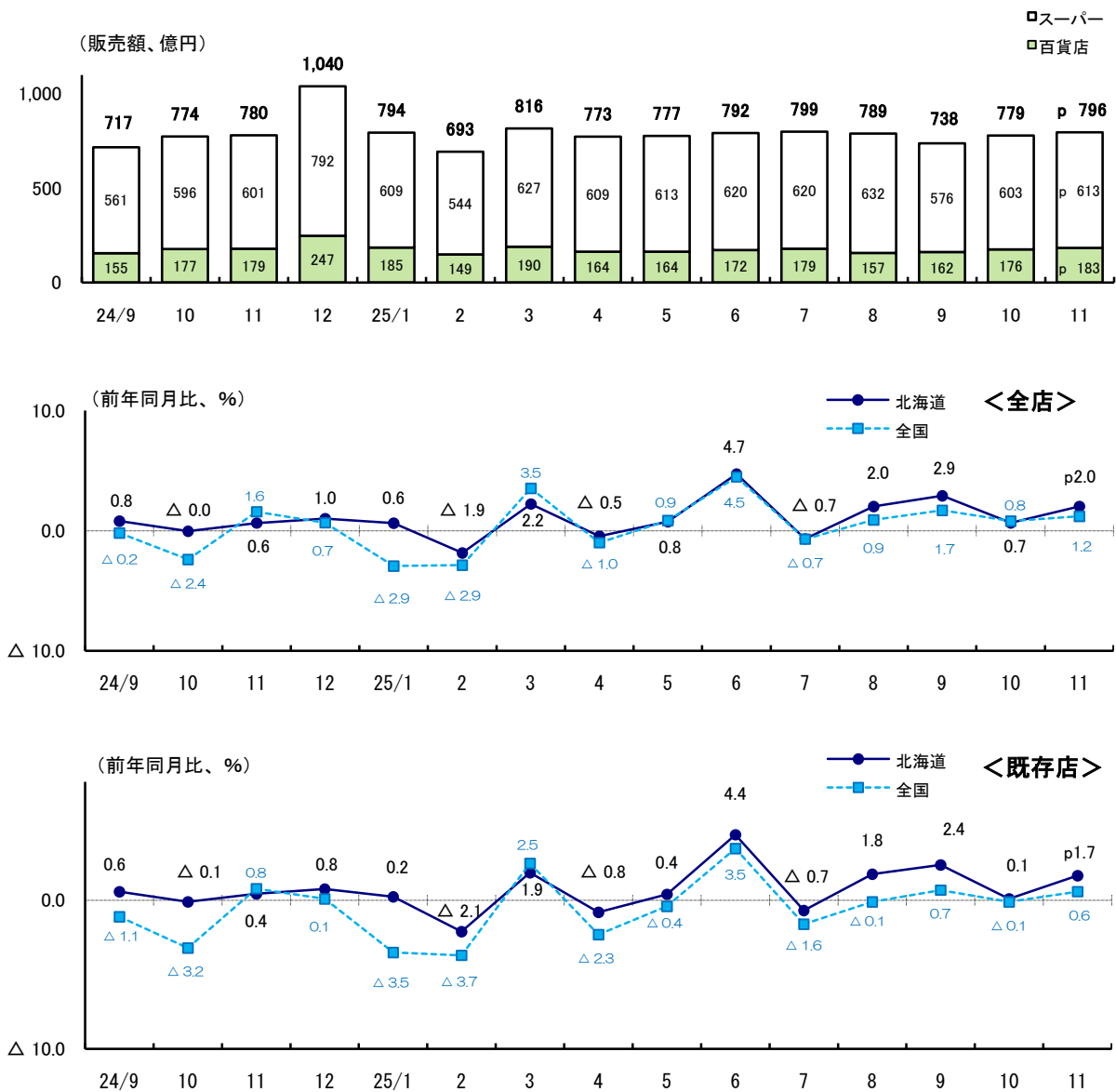
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■個人消費～ 持ち直している

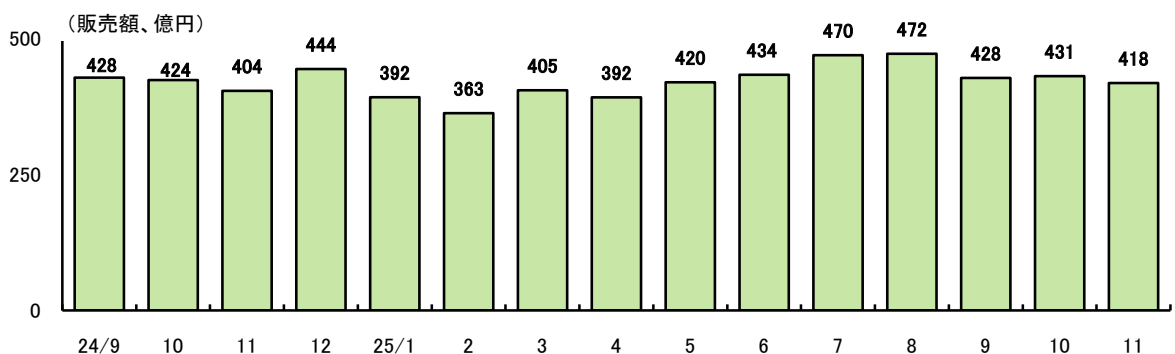
◆大型小売店販売額(11月)◆

全店ベースで796億円、前年同月比2.0%増と4か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同1.7%増と4か月連続で前年を上回った。



◆コンビニエンスストア販売額(11月)◆

全店ベースで418億円、前年同月比3.6%増と2か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同0.8%増と4か月ぶりに前年を上回った。

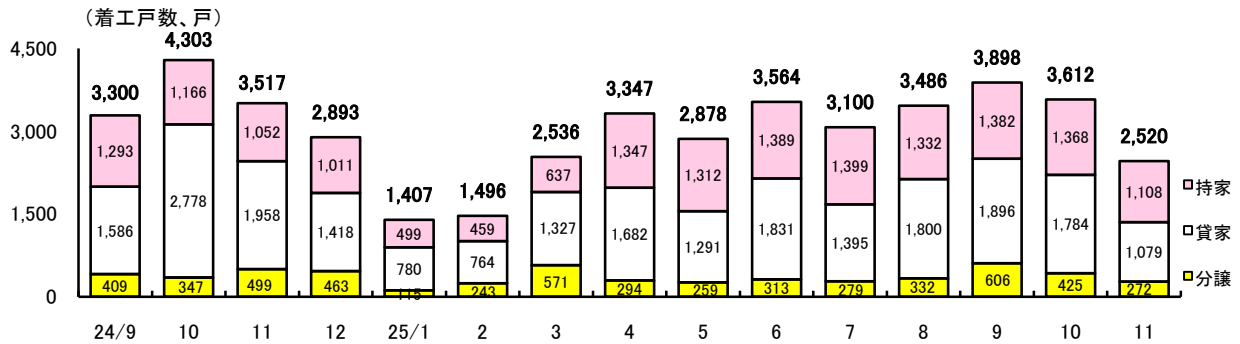




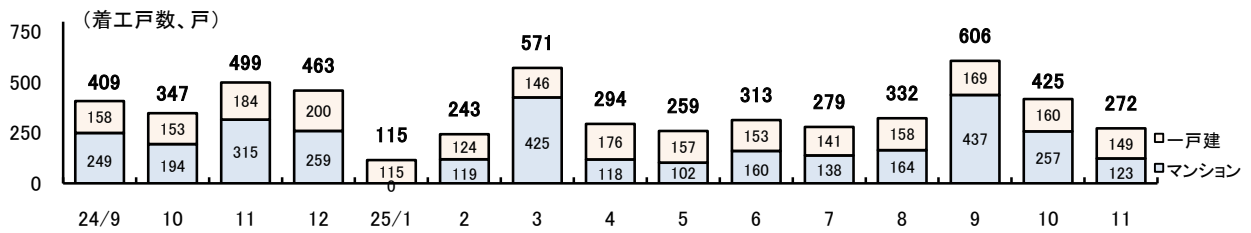
■住宅建設～ 持ち直しの動きが鈍化している

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

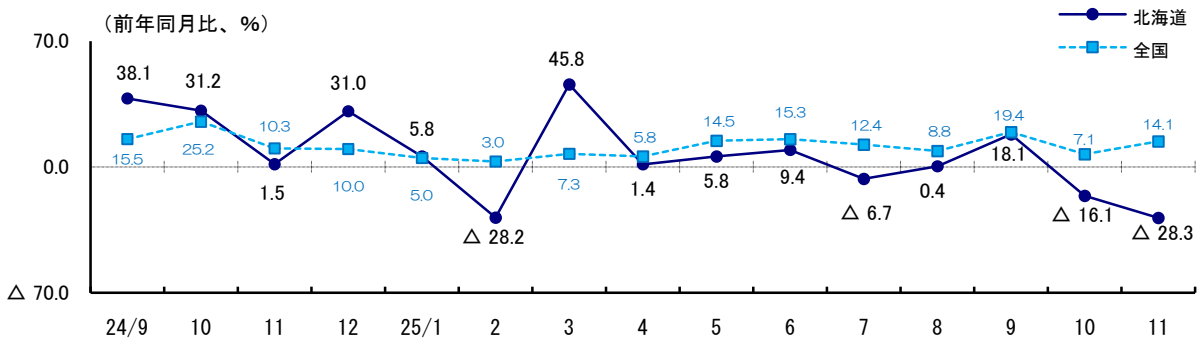
総戸数2,520戸、前年同月比28.3%減と2か月連続で前年を下回った。



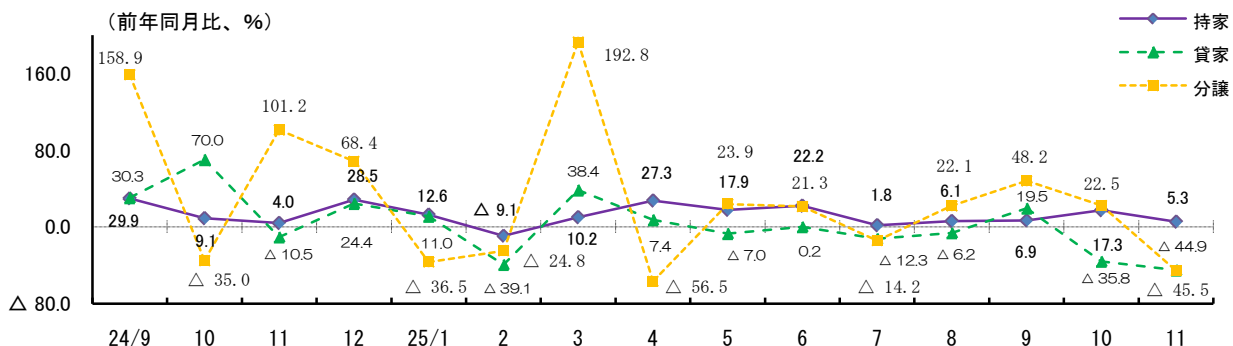
●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家は前年を上回ったが、貸家、分譲は前年を下回った。



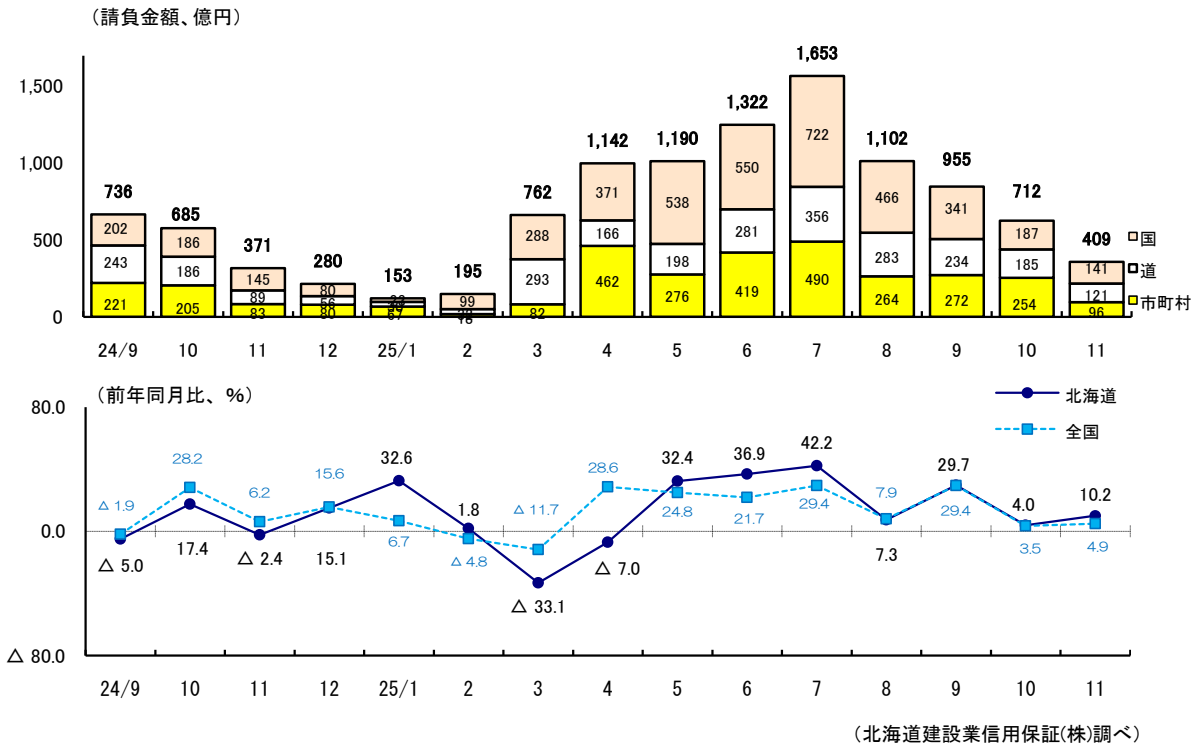
(国土交通省調べ)



■公共工事～ 増加している

◆公共工事請負金額(11月)◆

請負金額は409億円、前年同月比10.2%増と7か月連続で前年を上回った。

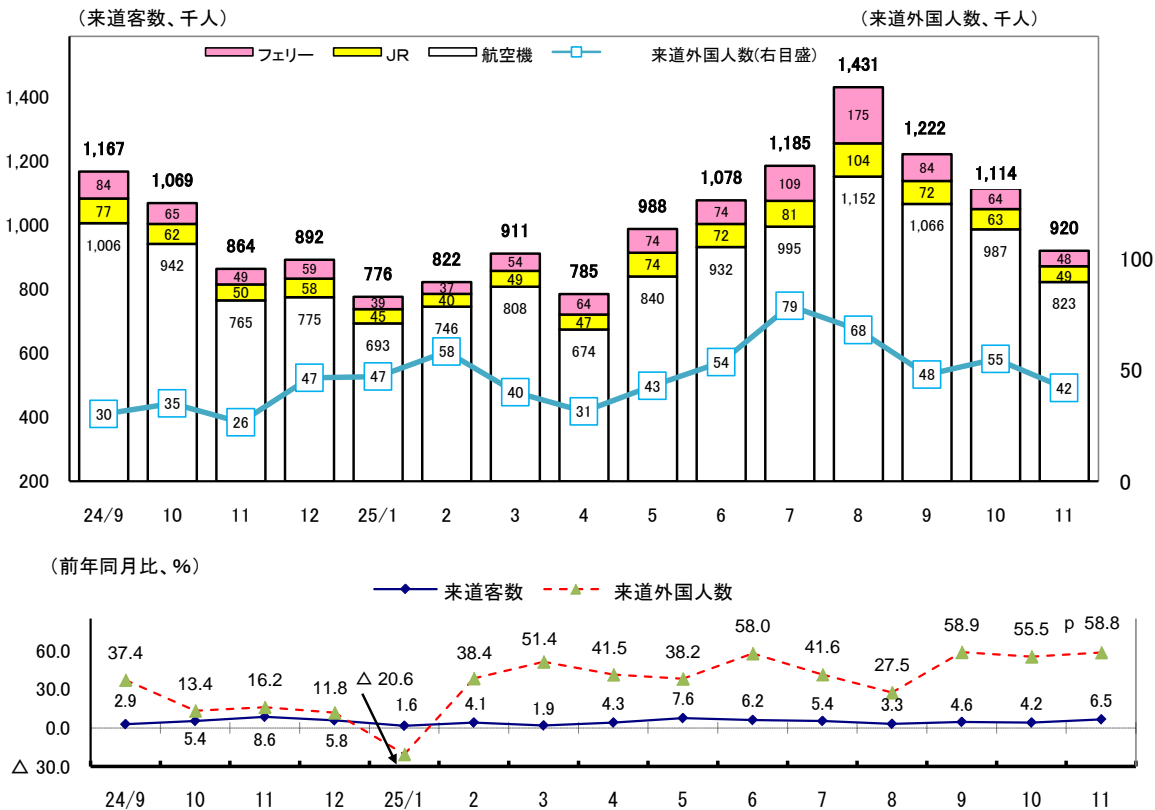


■観光～ 緩やかに回復している

◆来道客数(11月)◆

来道客数は92万人、前年同月比6.5%増と21か月連続で前年を上回った。

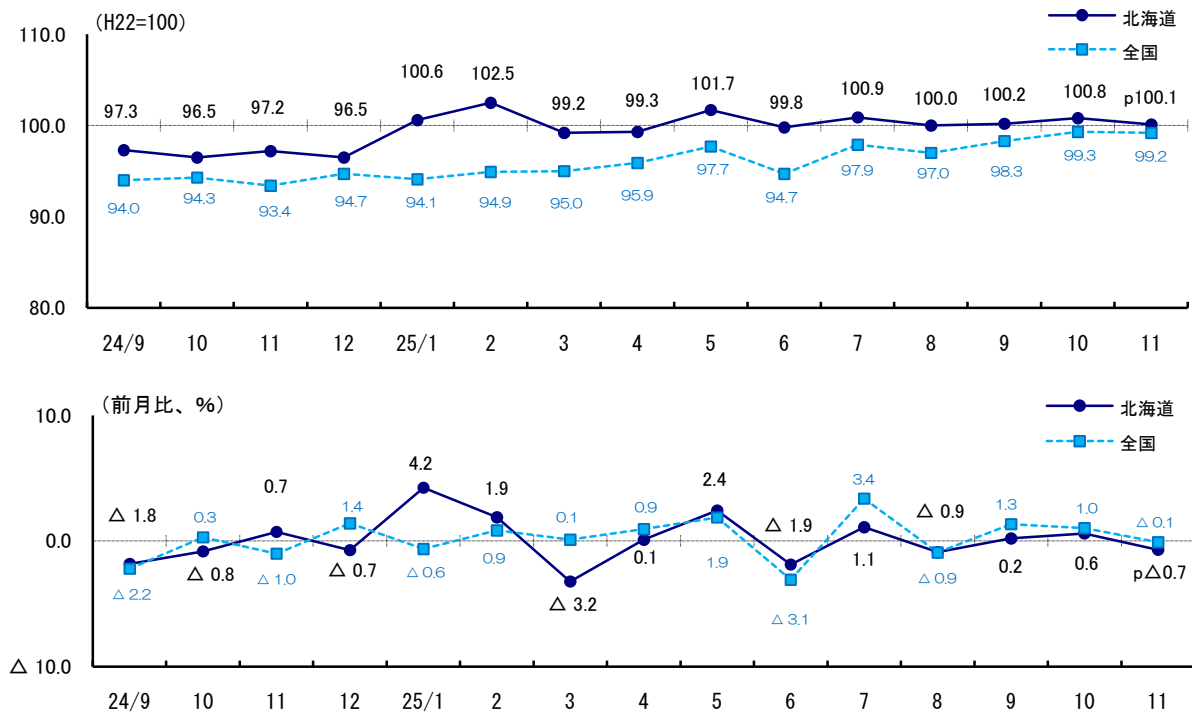
なお、本道に直接入国した外国人は4万2千人で、前年同月比58.8%増と10か月連続で前年を上回った。



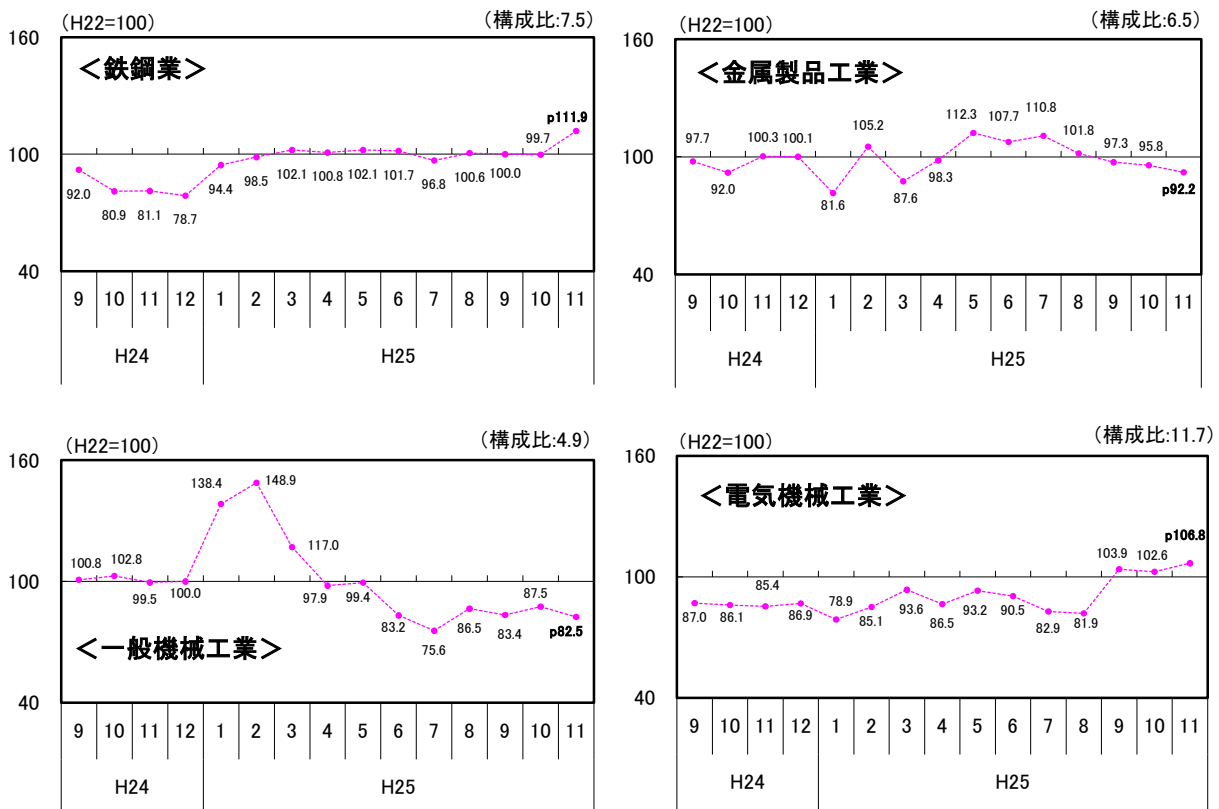
## ■生産活動～ 持ち直しの動きに足踏み感がみられる

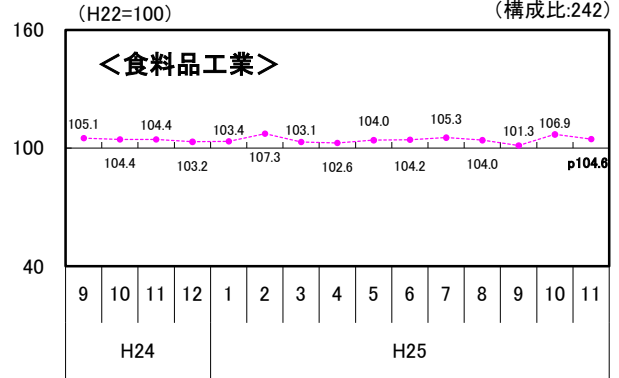
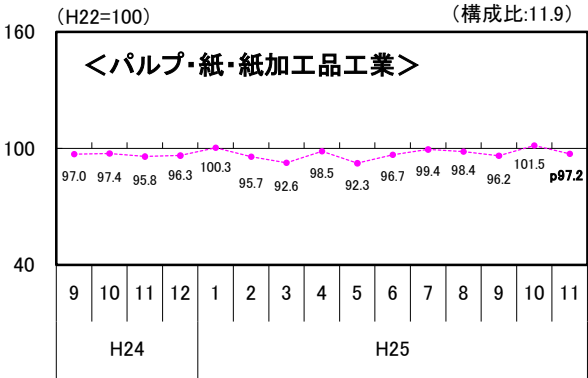
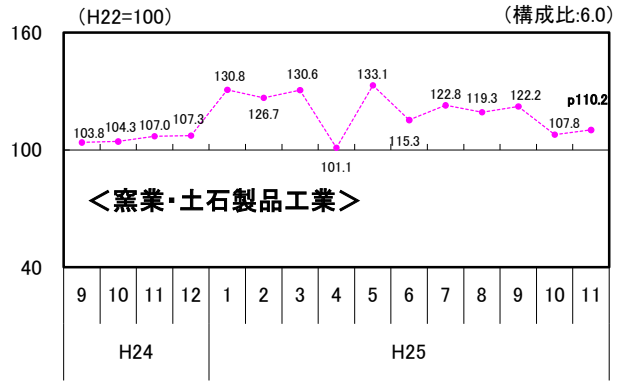
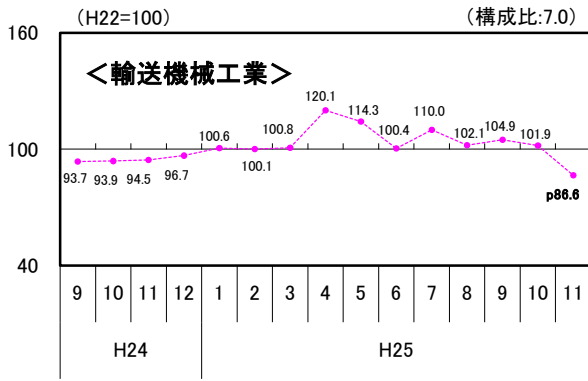
### ◆鉱工業生産指数（11月）◆

季節調整済指数で100.1、前月比0.7%減と3か月ぶりに低下した。



業種別では、季節調整済指数で、鉄鋼業、電気機械工業、窯業・土石製品工業が上昇したものの、金属製品工業、一般機械工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食品工業は低下した。



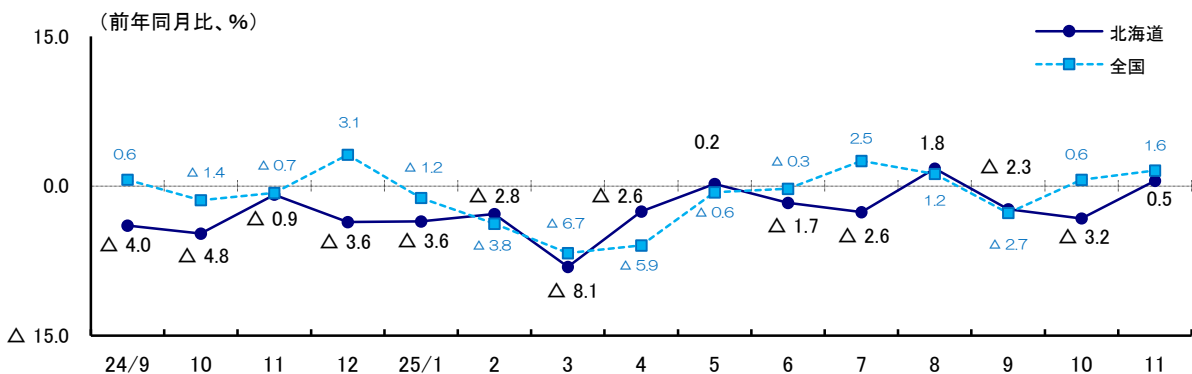
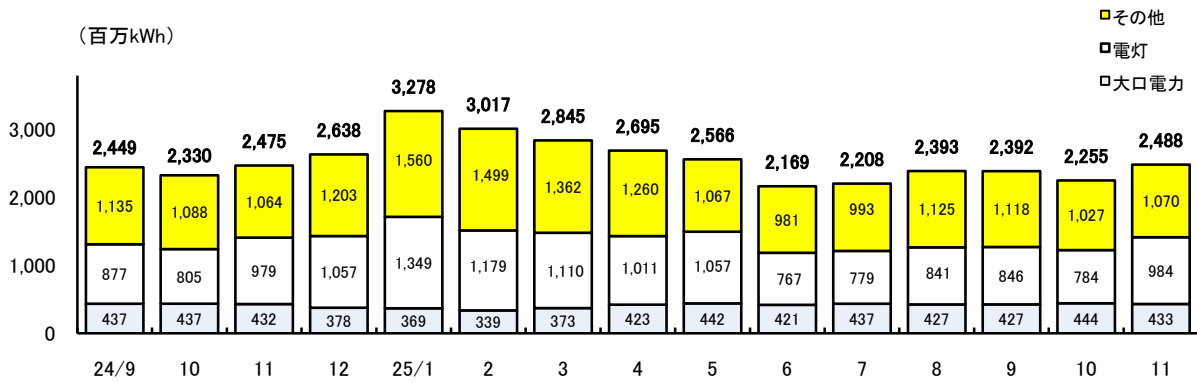


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

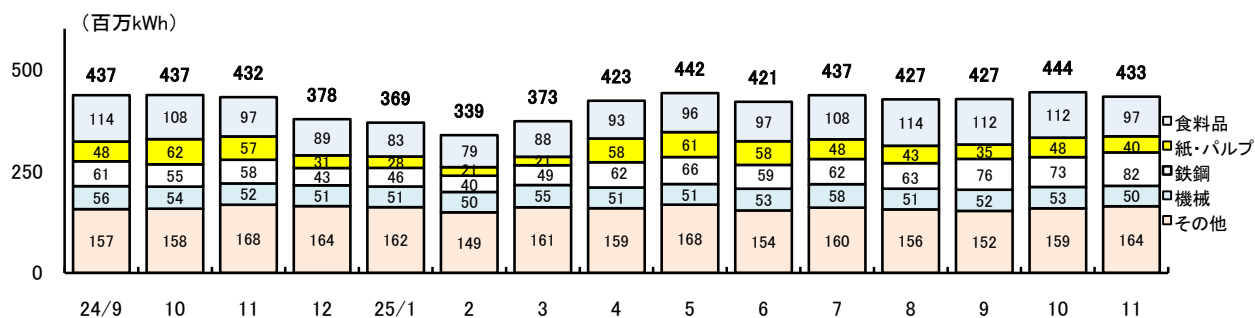
■ 電 力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を上回った

◆ 電力需要（11月）◆

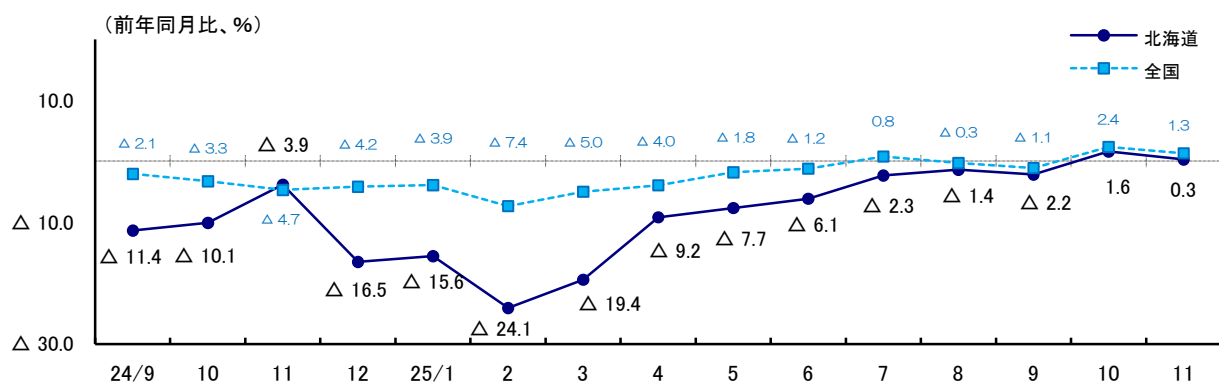
電力需要は2,488百万kWh、前年同月比0.5%増と3か月ぶりに前年を上回り、産業用需要の大口電力は433百万kWh、同0.3%増と2か月連続で前年を上回った。



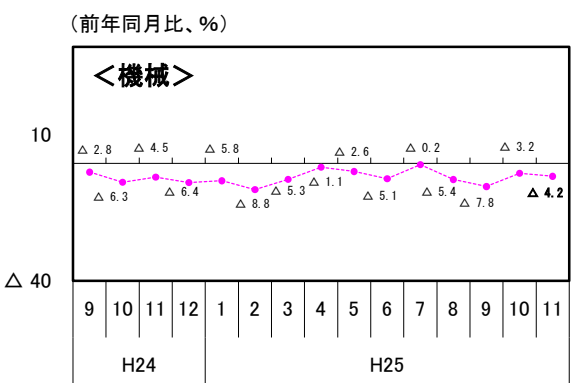
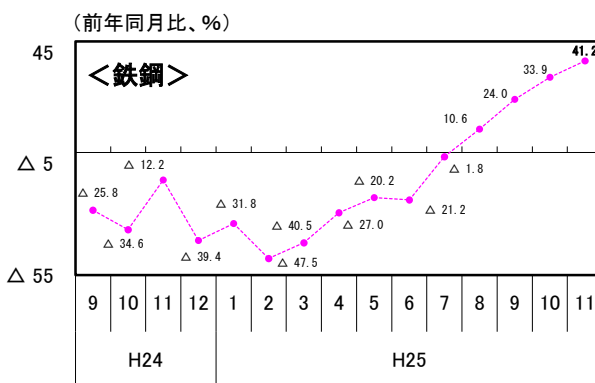
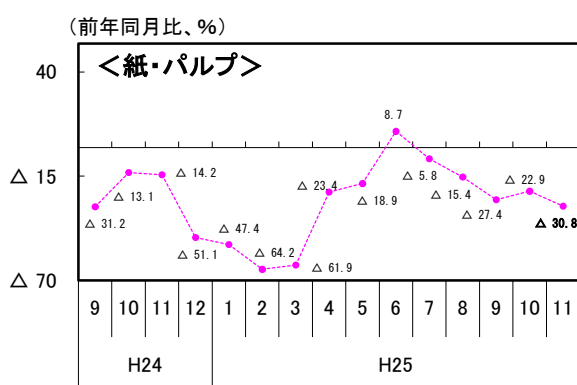
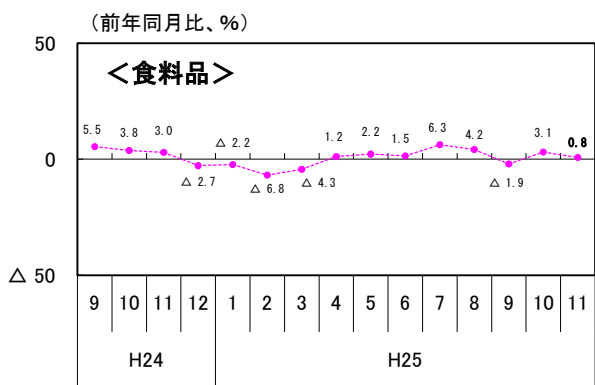
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食品、鉄鋼が前年を上回ったが、紙・パルプ、機械は前年を下回った。

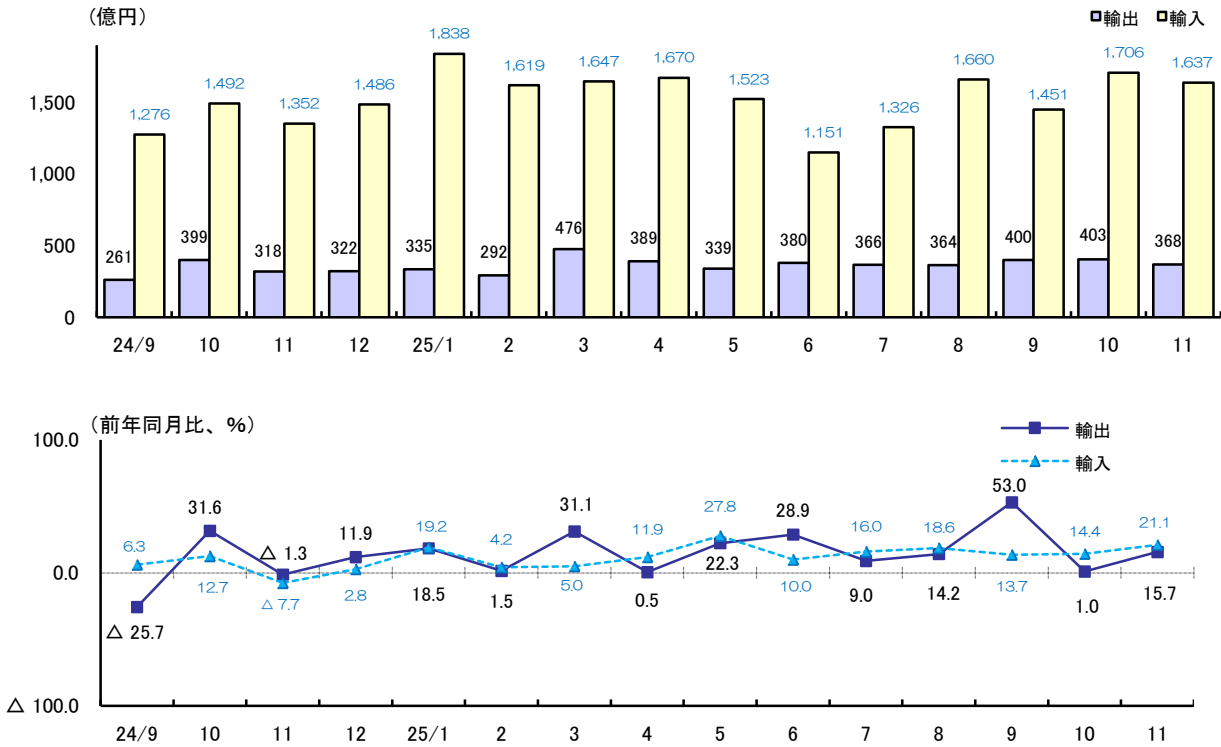


(電気事業連合会調べ)

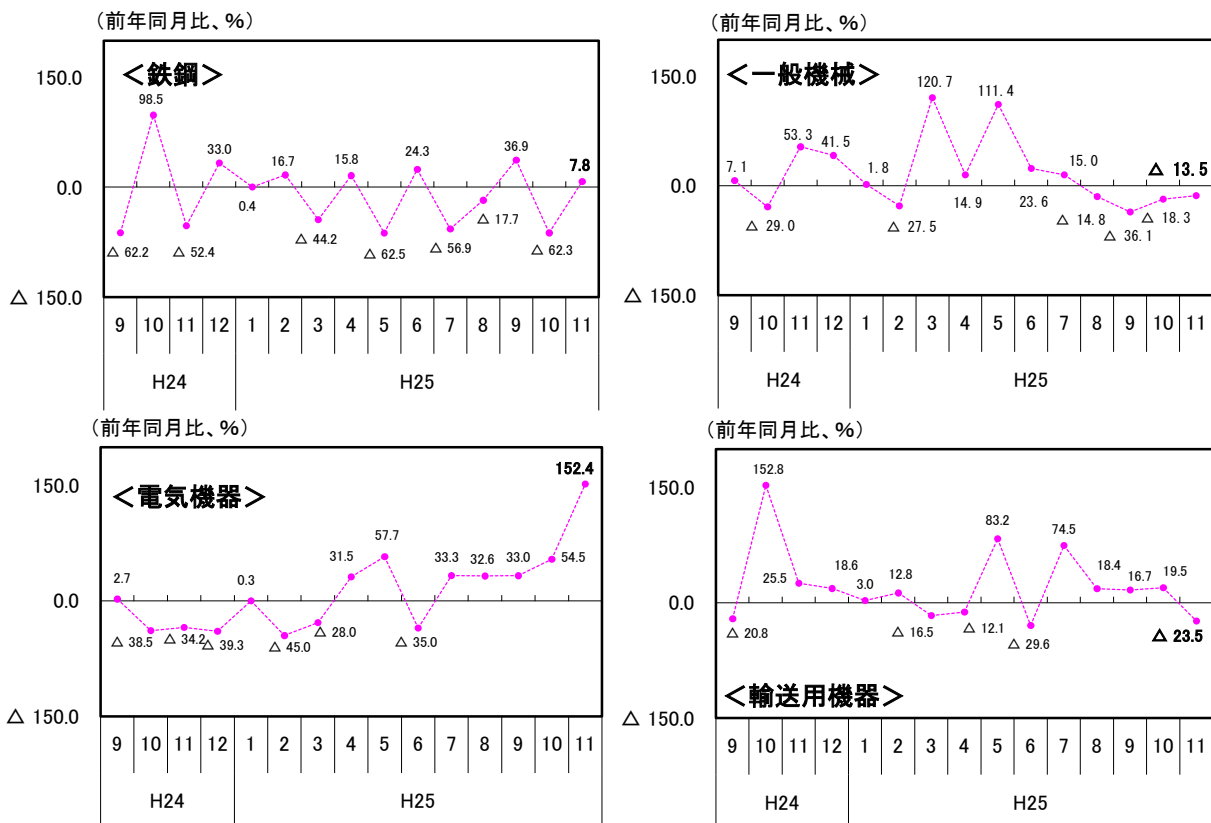
## ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

### ◆輸出入額（11月）◆

輸出額は368億円、前年同月比15.7%増と12か月連続で前年を上回り、輸入額1,637億円、同21.1%増と12か月連続で前年を上回った。



輸出品別では、鉄鋼、電気機器が前年を上回ったが、一般機械、輸送用機器は前年を下回った。

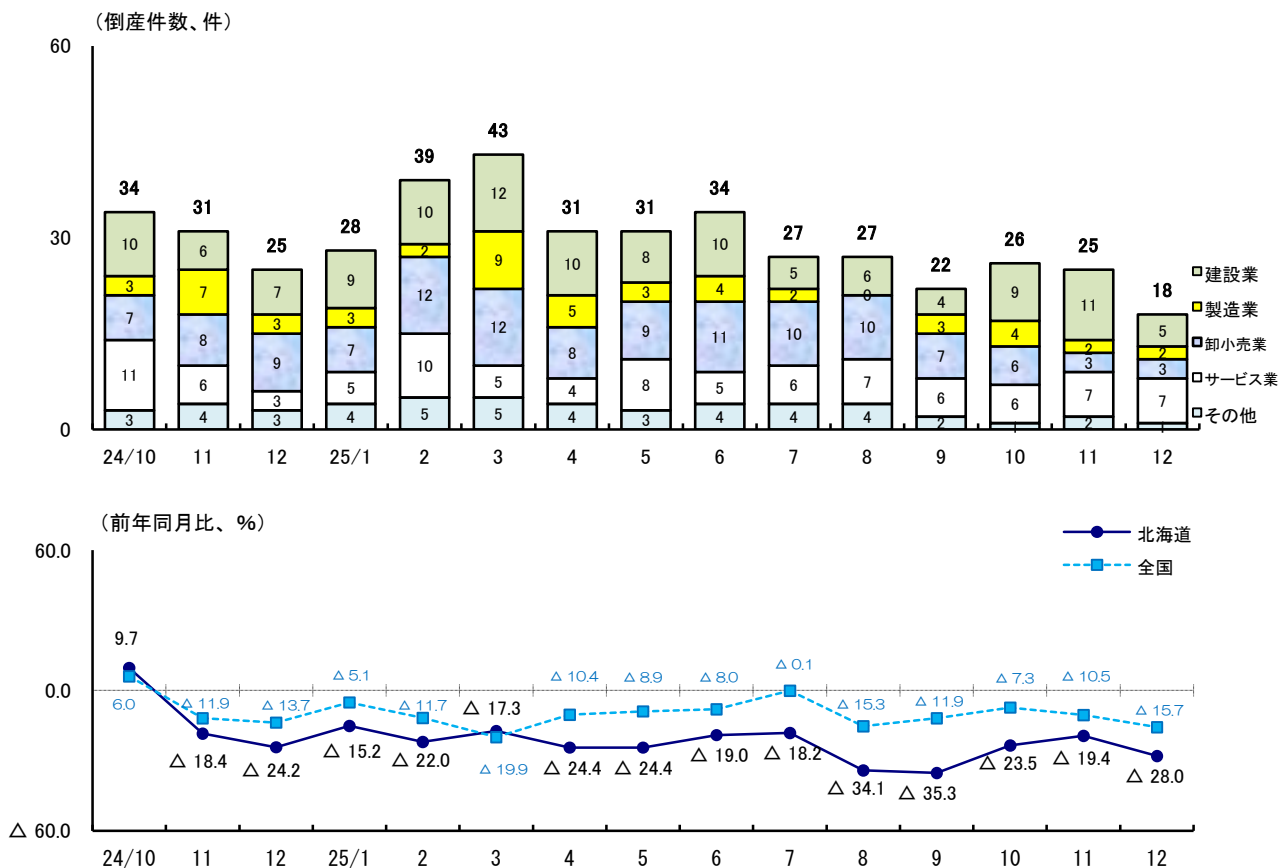


(財務省、函館税関調べ)

## ■企業倒産～ 件数、負債総額とも前年を下回った

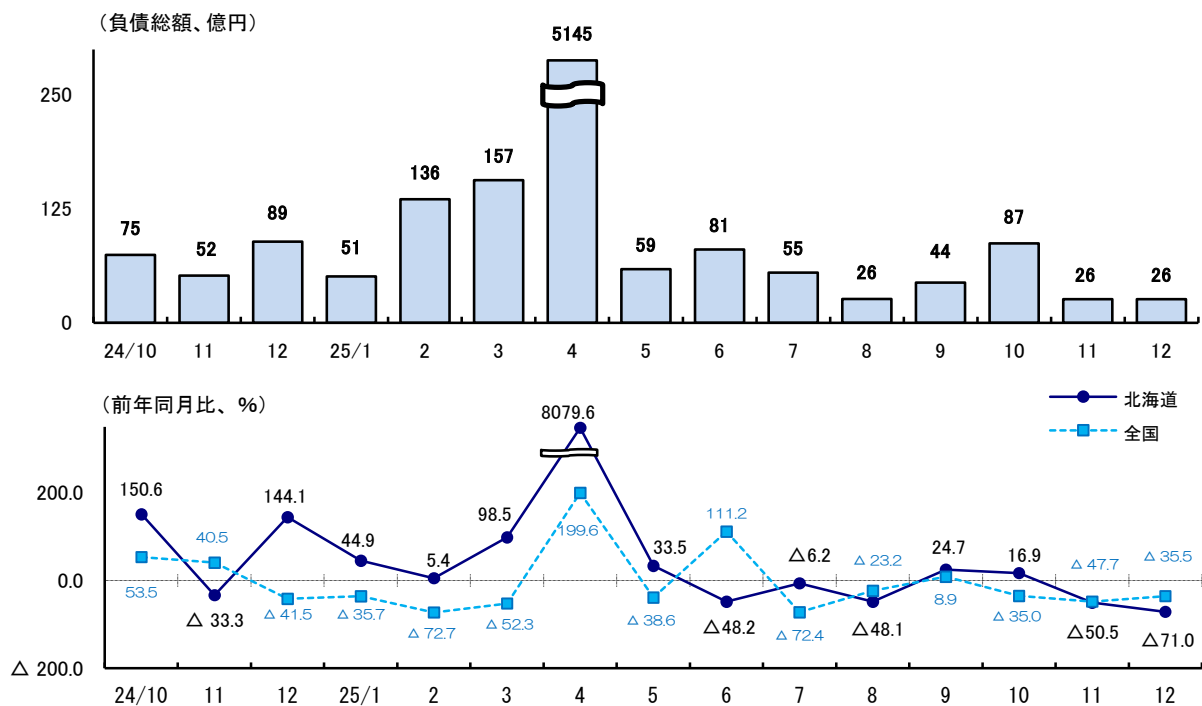
### ◆企業倒産件数（12月）◆

企業倒産件数は18件、前年同月比28.0%減と14か月連続で前年を下回った。



### ◆負債総額（12月）◆

負債総額は26億円、前年同月比71.0%減と2か月連続で前年を下回った。

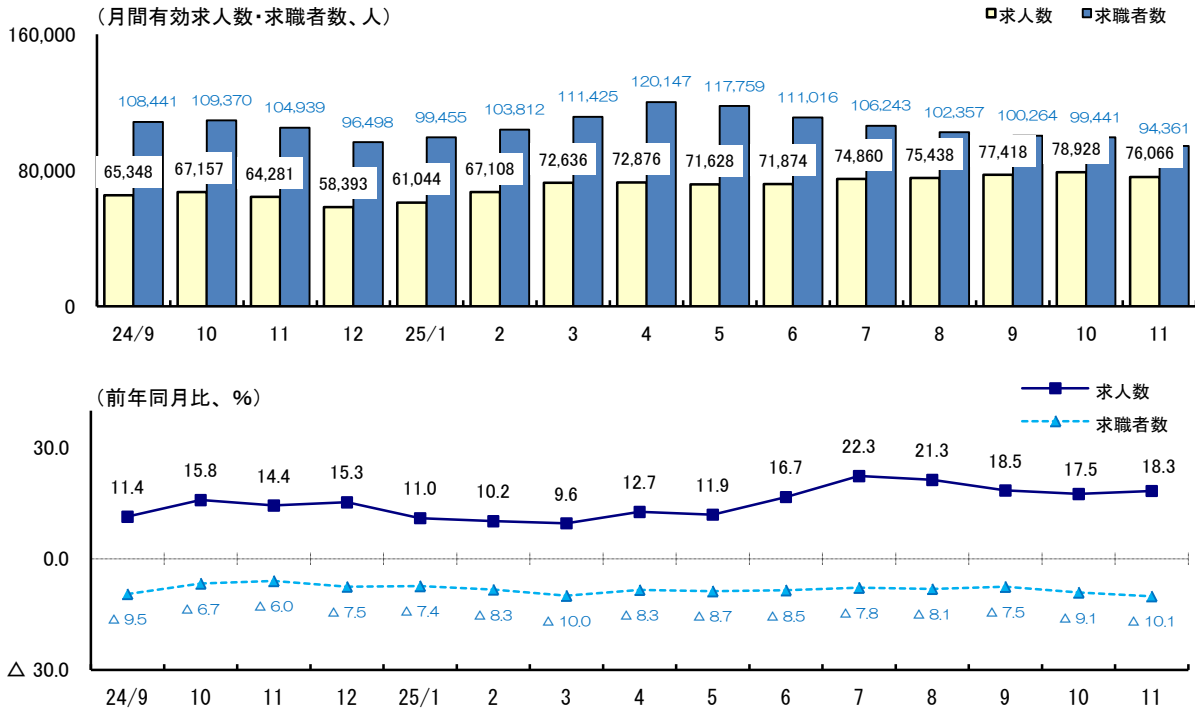


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ■雇 用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに改善している

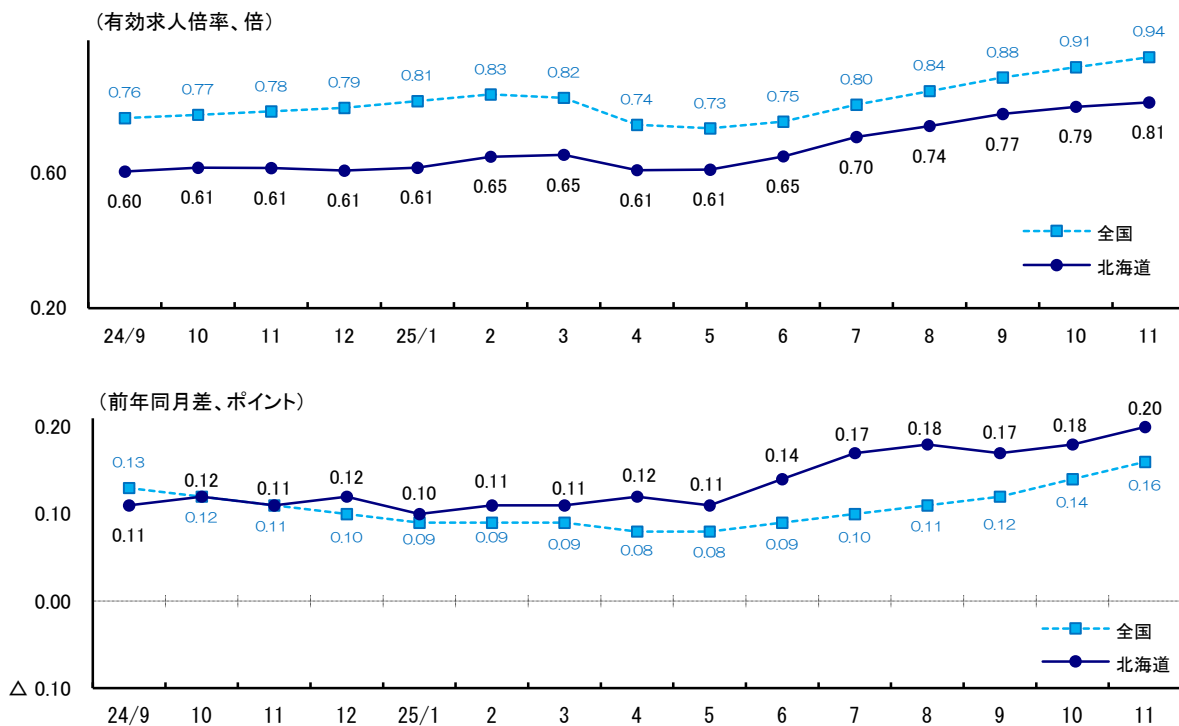
### ◆月間有効求人数・求職者数（11月）◆

月間有効求人数は7万6,066人、前年同月比18.3%増と46か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は9万4,361人、前年同月比10.1%減と25か月連続で前年を下回った。



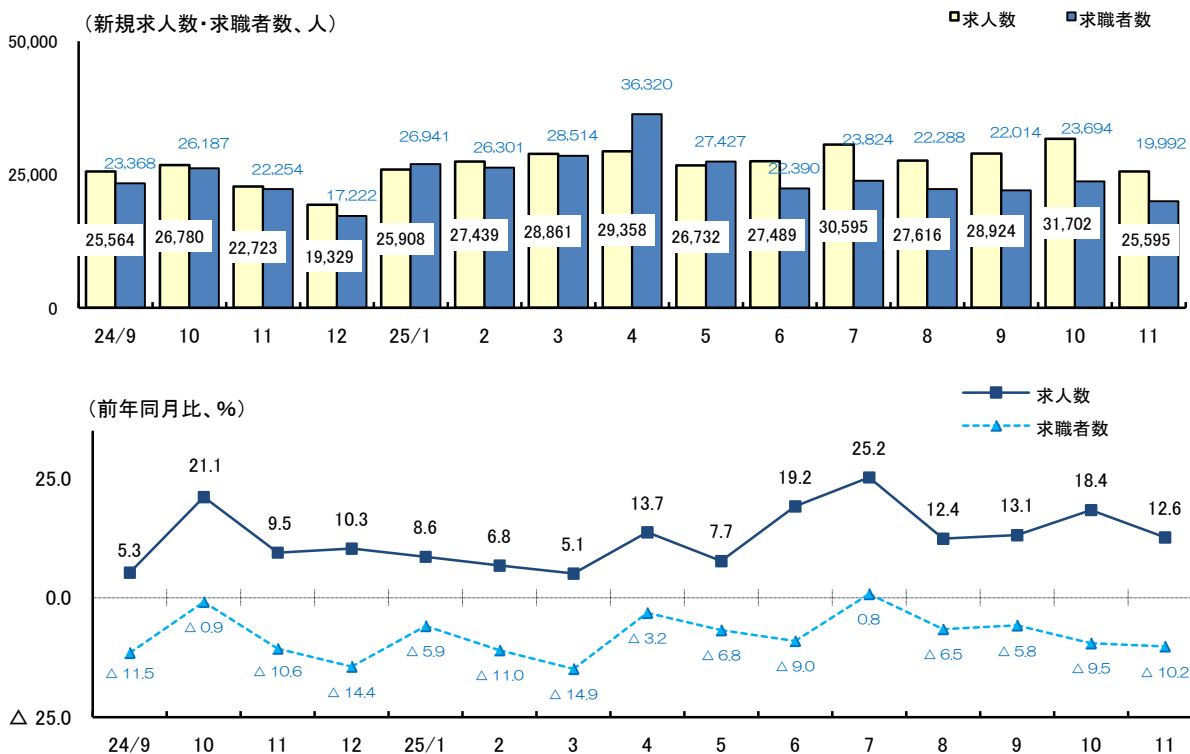
### ◆有効求人倍率（11月）◆

有効求人倍率は0.81倍、前年同月差では0.20ポイント増となり、46か月連続で前年を上回った。



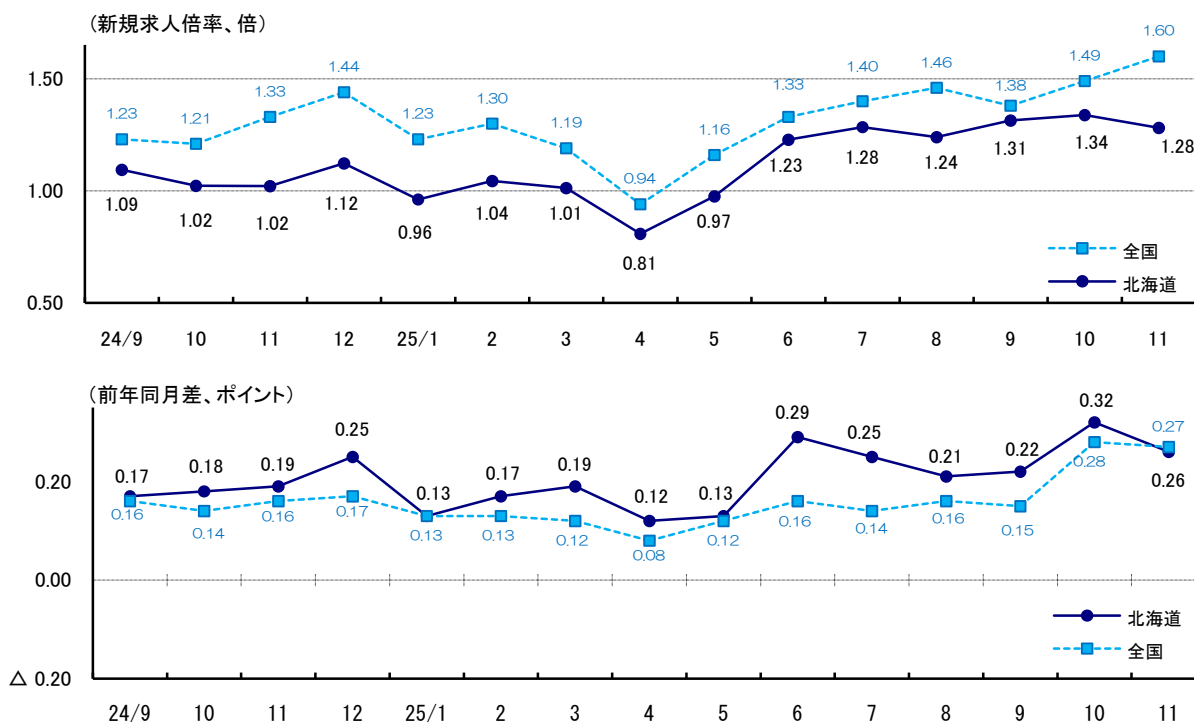
◆新規求人数・求職者数（11月）◆

新規求人数は2万5,595人、前年同月比12.6%増と46か月連続で前年を上回り、新規求職者数は1万9,992人、前年同月比10.2%減と4か月連続で前年を下回った。



◆新規求人倍率（11月）◆

新規求人倍率は1.28倍、前年同月差では0.26ポイント増となり、30か月連続で前年を上回った。

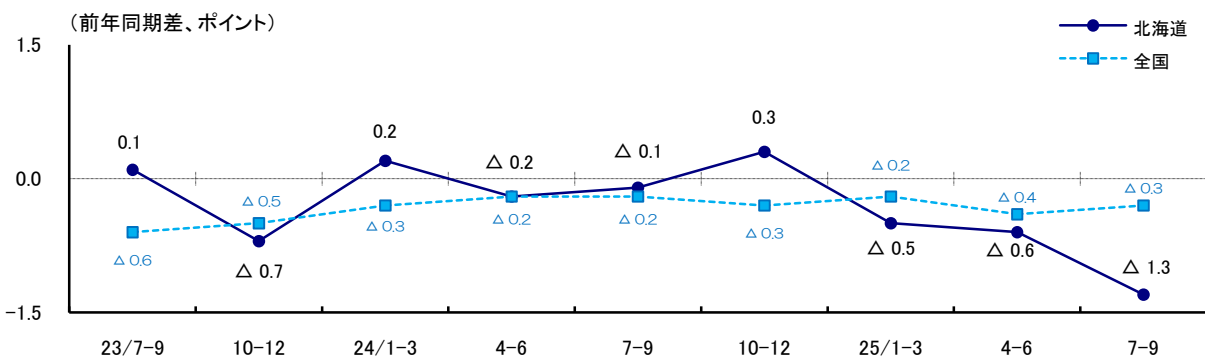
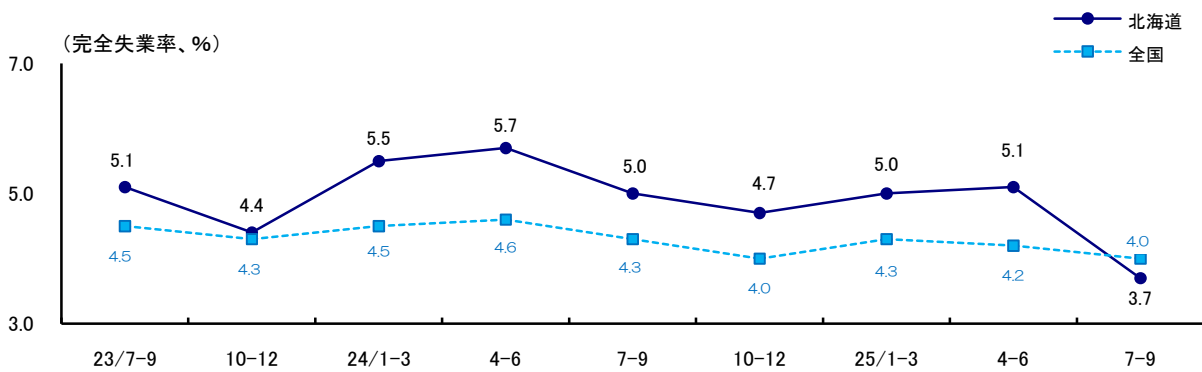
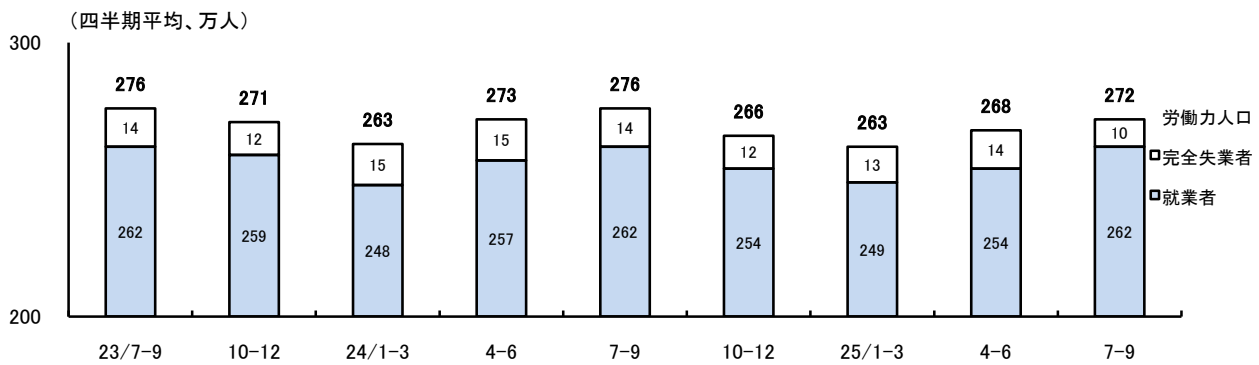


(北海道労働局、厚生労働省調べ)



◆完全失業者数、完全失業率（25年7-9月期）◆

完全失業者数は10万人と前年同期に比べて4万人減少し、完全失業率は3.7%、前年同期から1.3ポイント低下した。



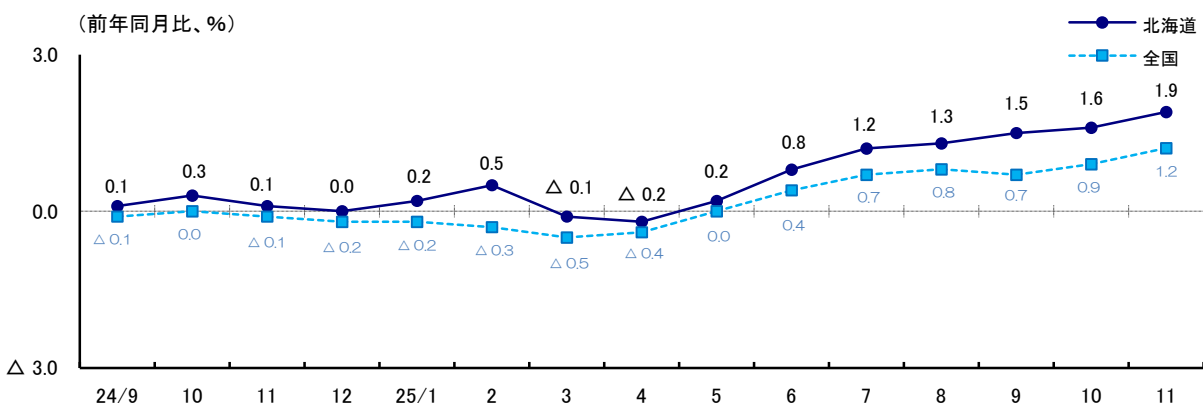
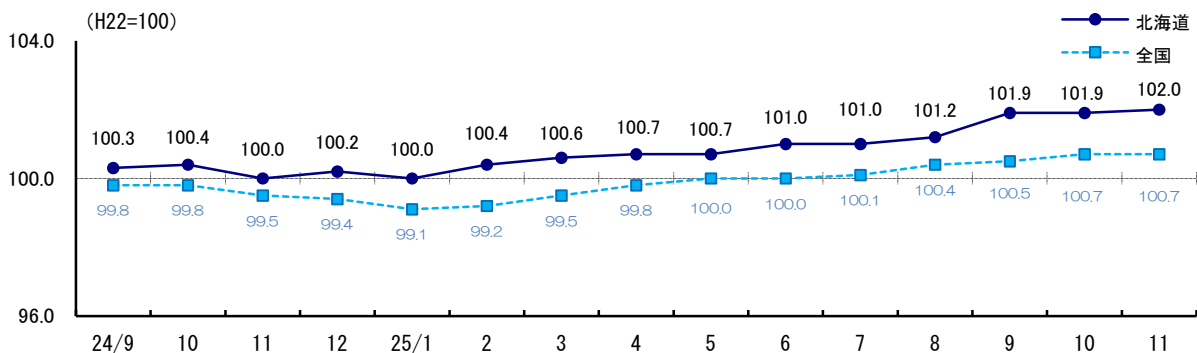
(総務省調べ)

※ 平成23年1-3月から7-9月までの全国値は、補完的な推計を行って算出した参考値

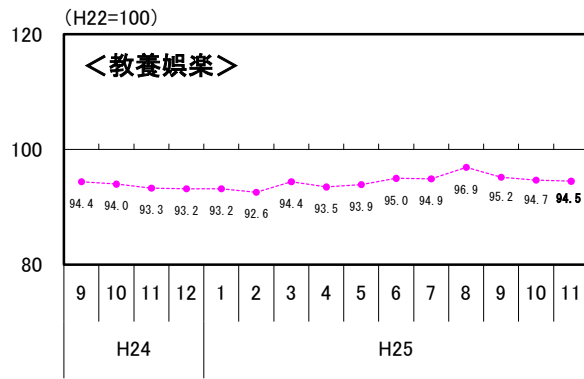
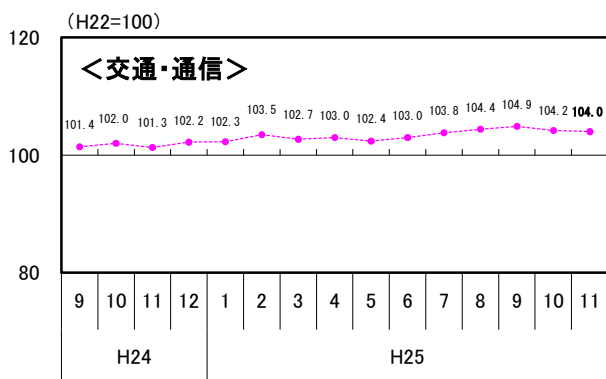
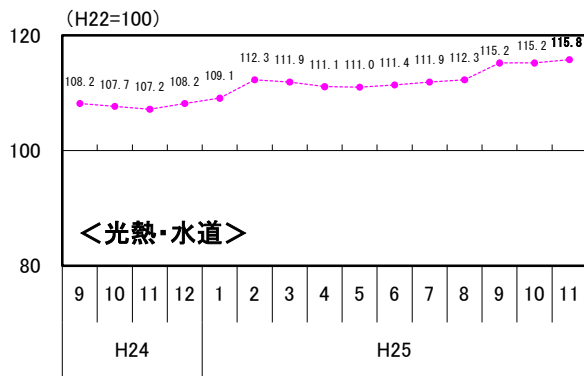
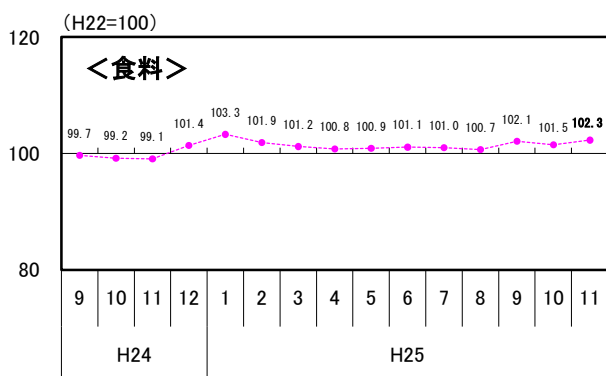
## ■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

### ◆消費者物価指数（11月）◆

生鮮食品を除く総合で102.0と、前年同月比1.9%増と7か月連続で前年を上回った。



前月からの動きを費目別でみると、食料、光熱・水道が上昇したものの、交通・通信、教養娯楽は低下した。

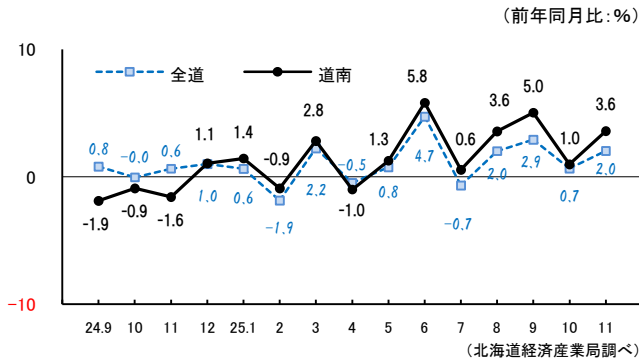


（総務省統計局調べ）

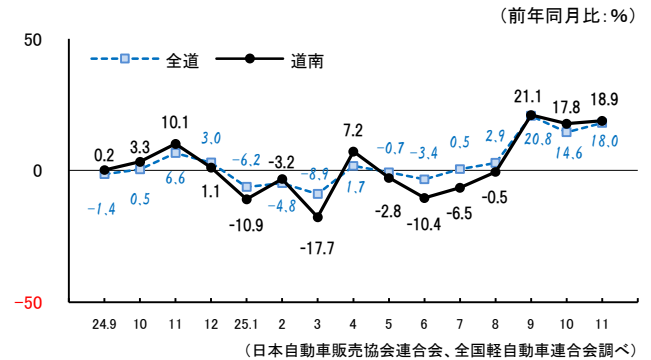
## ■ 地域の経済動向

### 道南圏

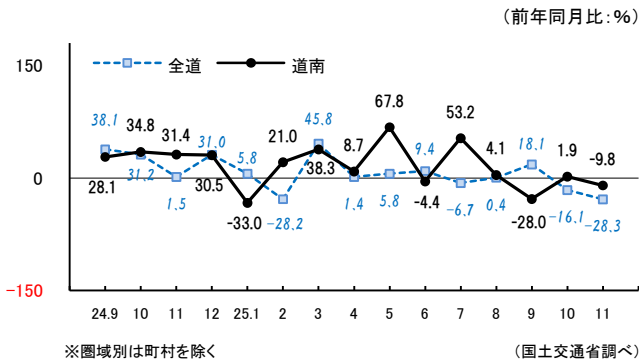
#### ◆大型小売店販売額(全店、函館市) (11月)◆ 7か月連続で前年を上回った



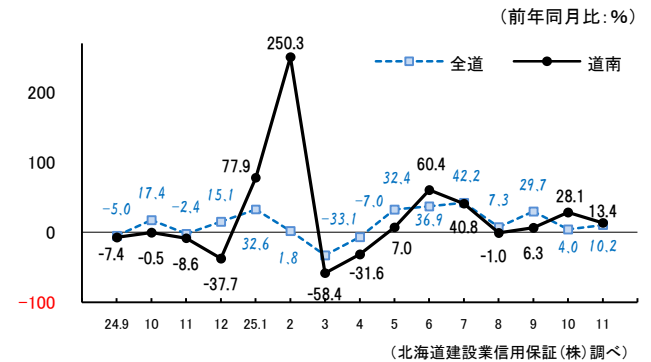
#### ◆新車登録台数(乗用車) (11月)◆ 3か月連続で前年を上回った



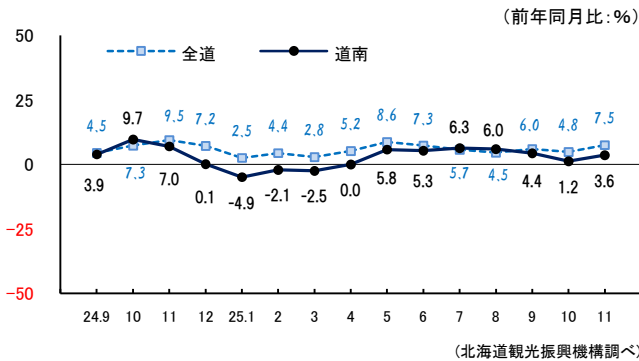
#### ◆新設住宅着工戸数 (11月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



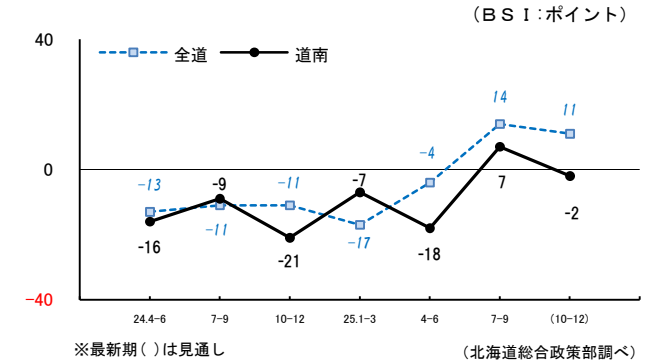
#### ◆公共工事請負金額 (11月)◆ 3か月連続で前年を上回った



#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (11月)◆ 7か月連続で前年を上回った

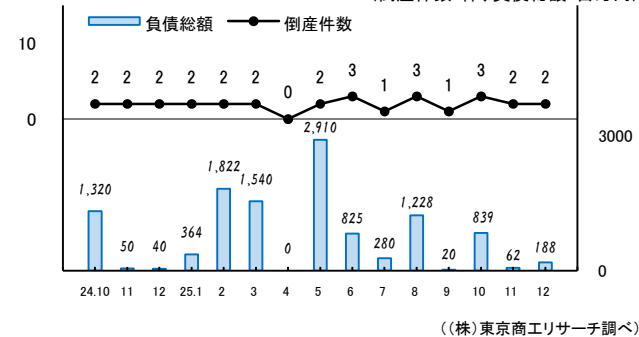


#### ◆企業の業況感 (7-9月期)◆ 前期マイナスからプラスに転換した



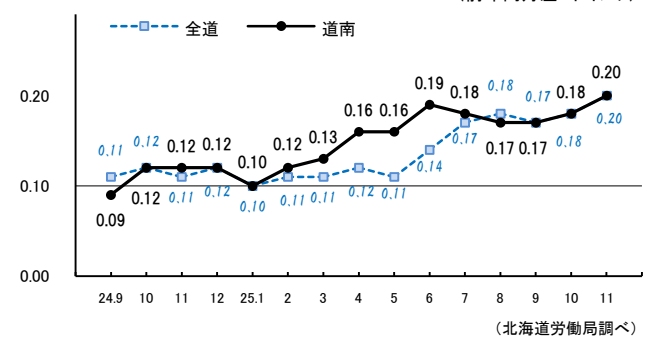
#### ◆企業倒産 (12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (11月)◆

42か月連続で前年を上回った  
(前年同月差:ポイント)

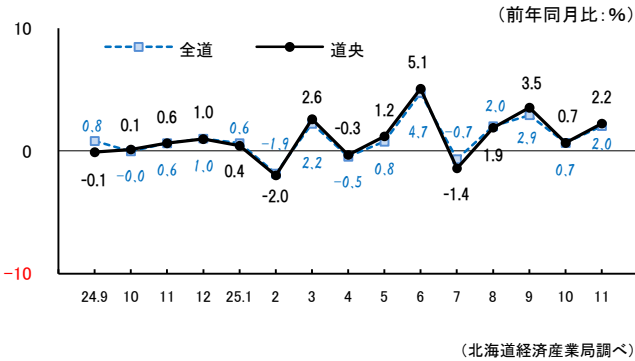


## ■ 地域の経済動向

### 道央圏

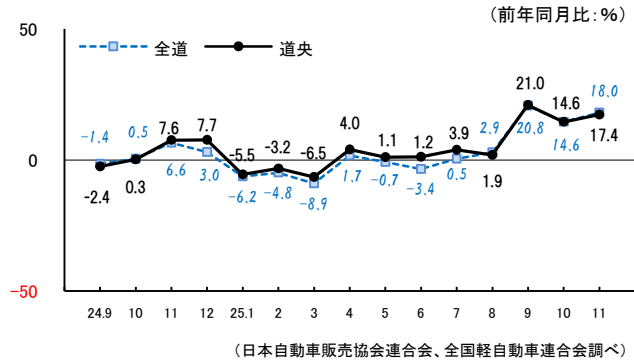
#### ◆大型小売店販売額(11月)◆

(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)  
4か月連続で前年を上回った



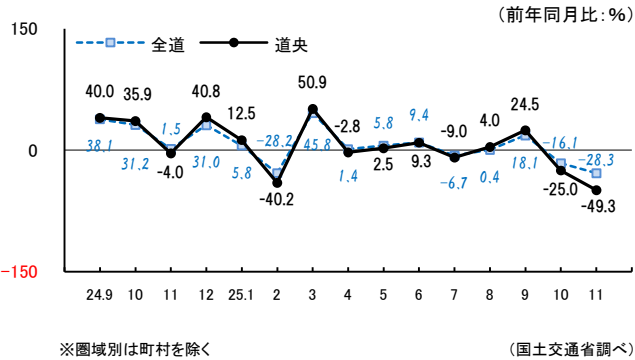
#### ◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

8か月連続で前年を上回った



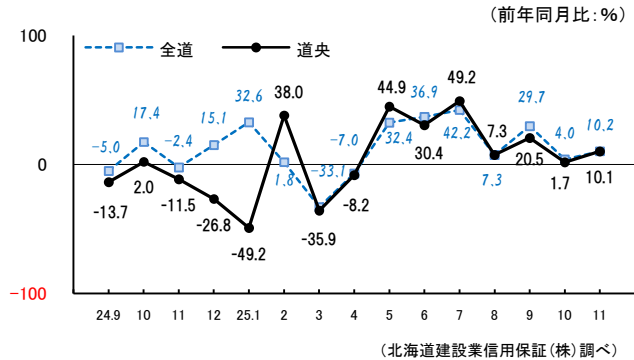
#### ◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月連続で前年を下回った



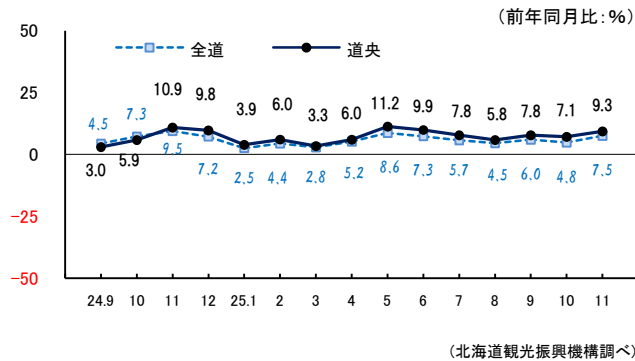
#### ◆公共工事請負金額(11月)◆

7か月連続で前年を上回った



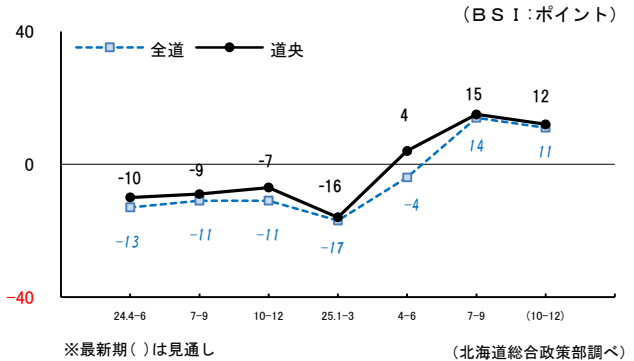
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

21か月連続で前年を上回った



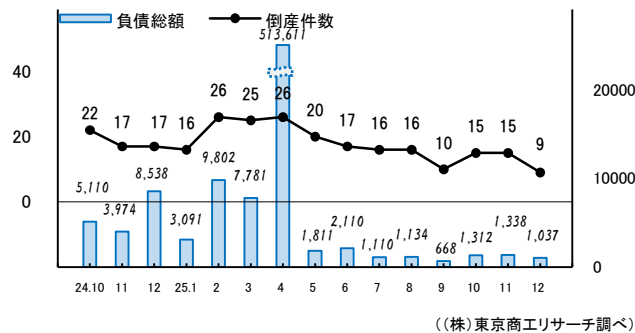
#### ◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からプラス幅が拡大した



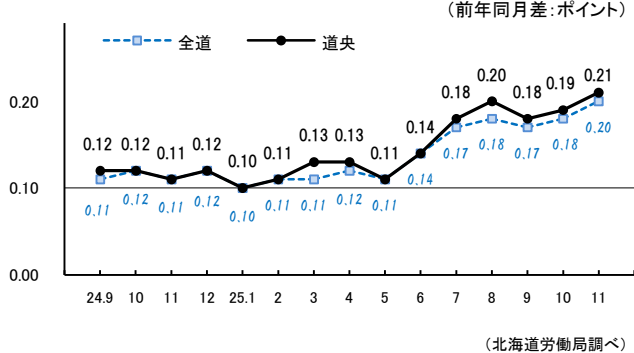
#### ◆企業倒産(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率(11月)◆

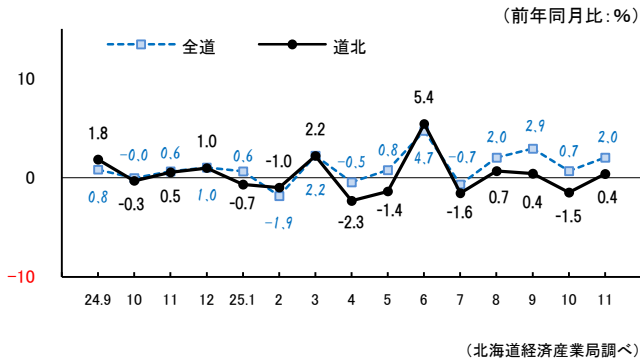
45か月連続で前年を上回った



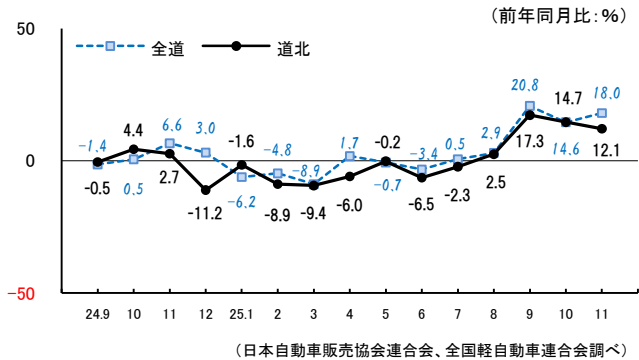
■ 地域の経済動向

道北圏

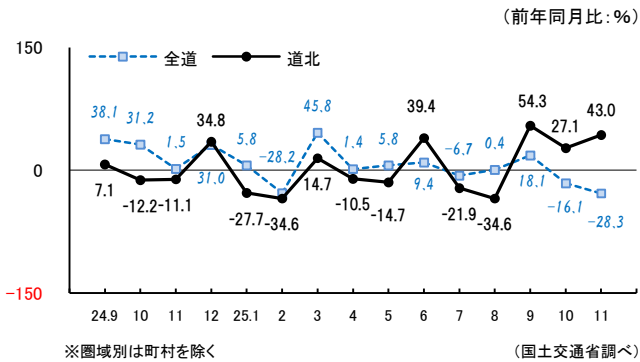
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (11月)◆  
2か月ぶりに前年を上回った



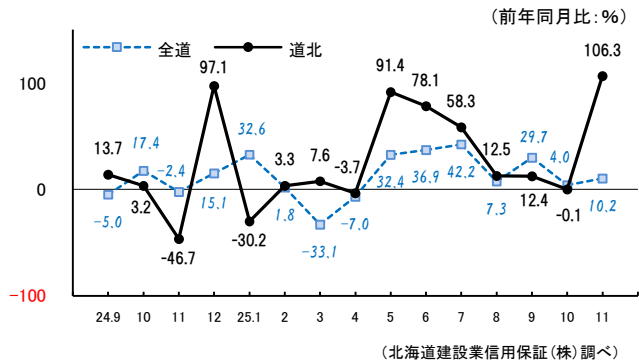
◆新車登録台数(乗用車) (11月)◆  
4か月連続で前年を上回った



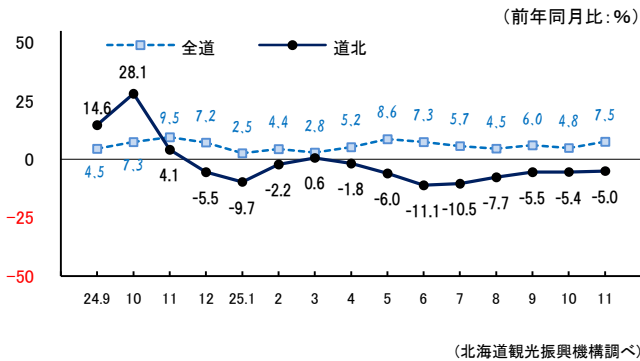
◆新設住宅着工戸数 (11月)◆  
3か月連続で前年を上回った



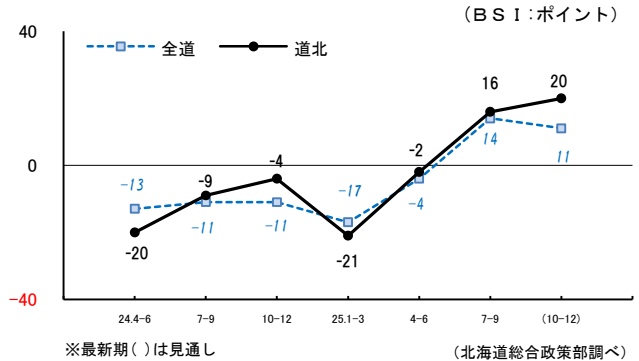
◆公共工事請負金額 (11月)◆  
2か月ぶりに前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (11月)◆  
8か月連続で前年を下回った

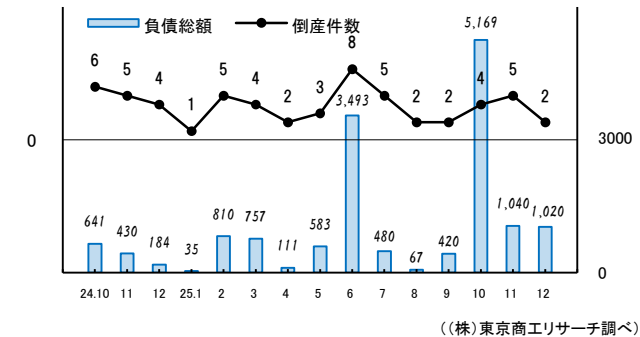


◆企業の業況感 (7-9月期)◆  
前期マイナスからプラスに転換した



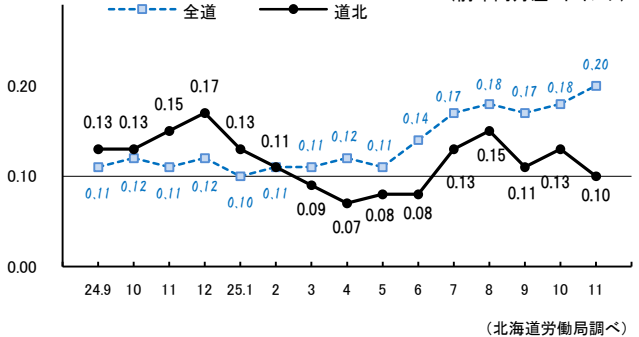
◆企業倒産 (12月)◆

10億円以上の大型倒産は1件発生した  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (11月)◆

47か月連続で前年を上回った  
(前年同月差:ポイント)

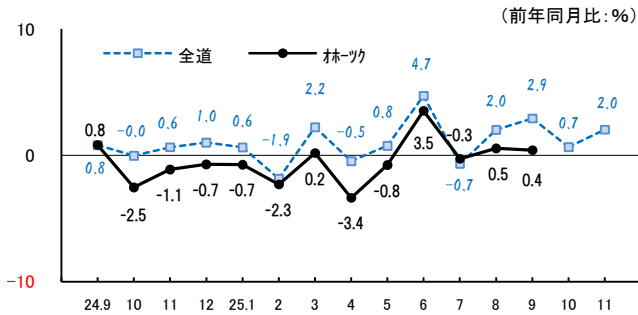


## ■ 地域の経済動向

### オホーツク圏

#### ◆主要小売店売上高(全店)(9月)◆

2か月連続で前年を上回った

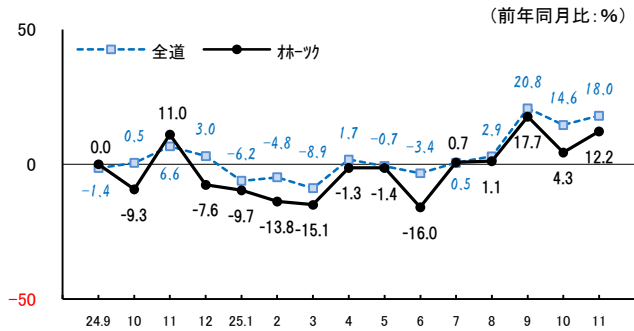


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

#### ◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

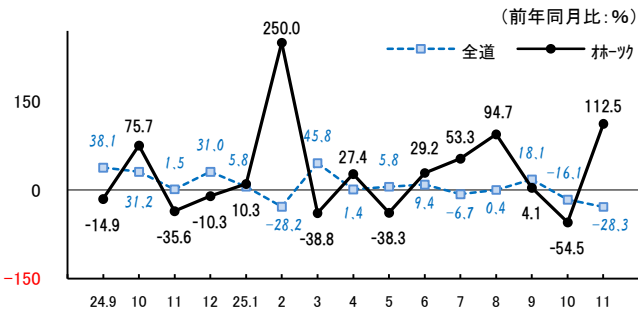
5か月連続で前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

#### ◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

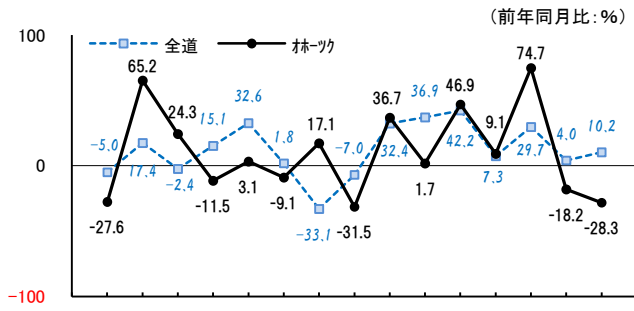


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

#### ◆公共工事請負金額(11月)◆

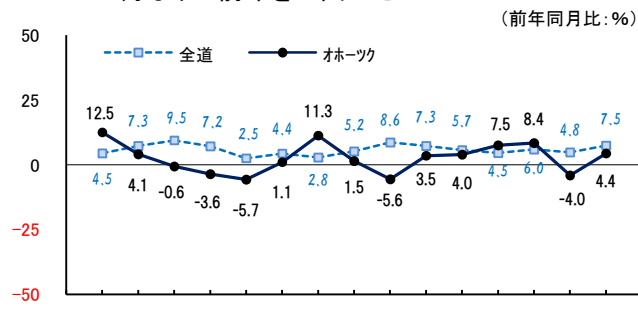
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

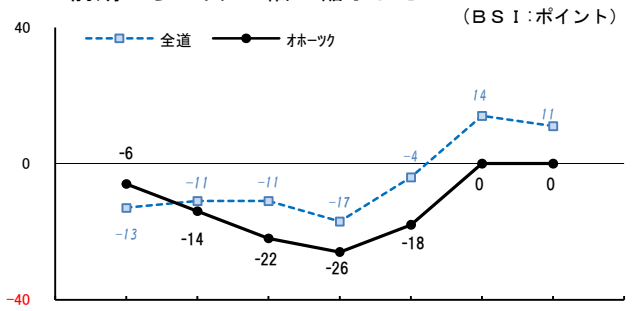
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

#### ◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



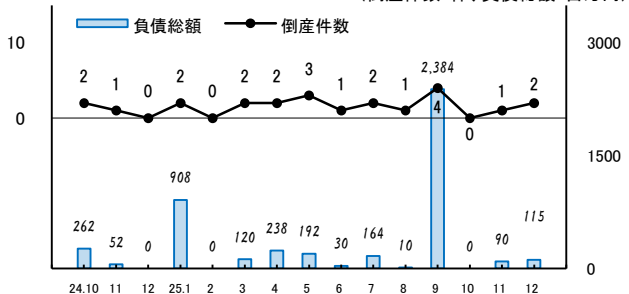
※最新期( )は見通し

(北海道総合政策部調べ)

#### ◆企業倒産(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

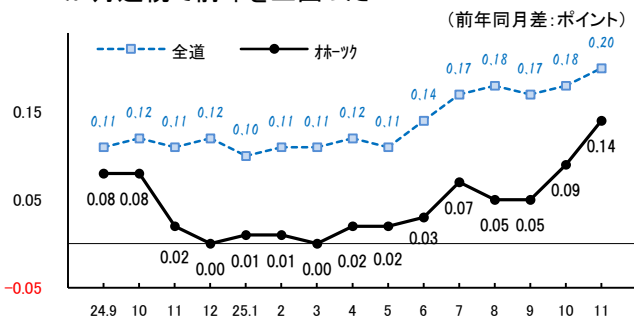
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

#### ◆有効求人倍率(11月)◆

8か月連続で前年を上回った

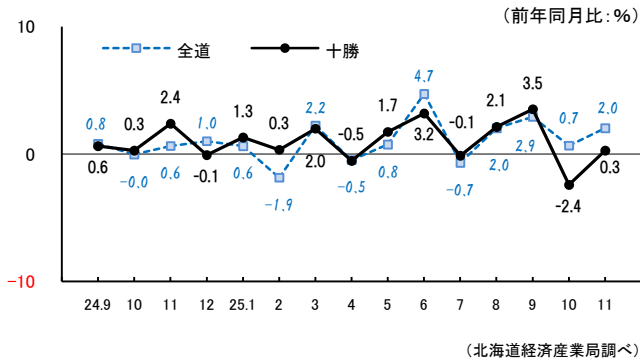


(北海道労働局調べ)

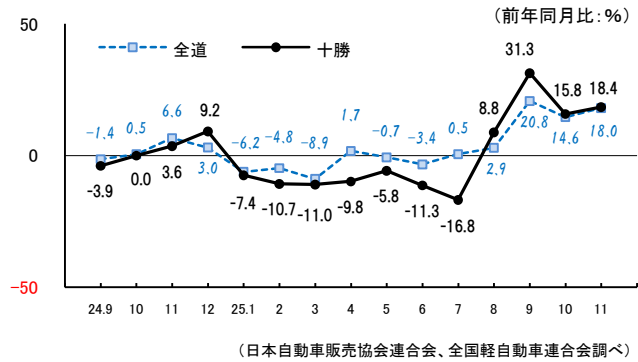
■ 地域の経済動向

十勝圏

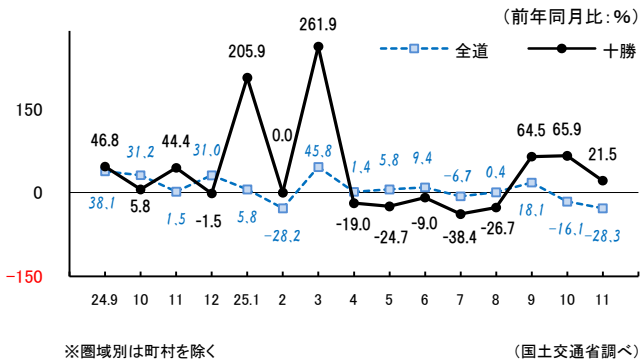
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (11月)◆  
2か月ぶりに前年を上回った



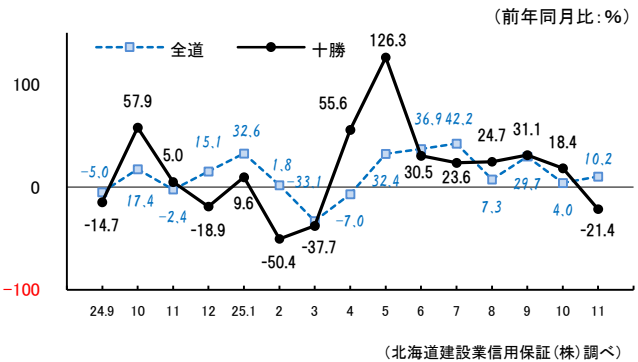
◆新車登録台数(乗用車) (11月)◆  
4か月連続で前年を上回った



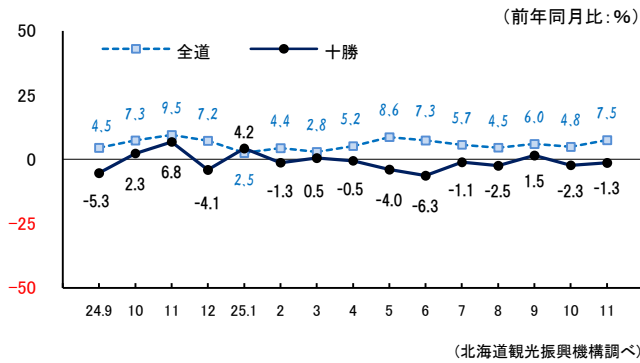
◆新設住宅着工戸数 (11月)◆  
3か月連続で前年を上回った



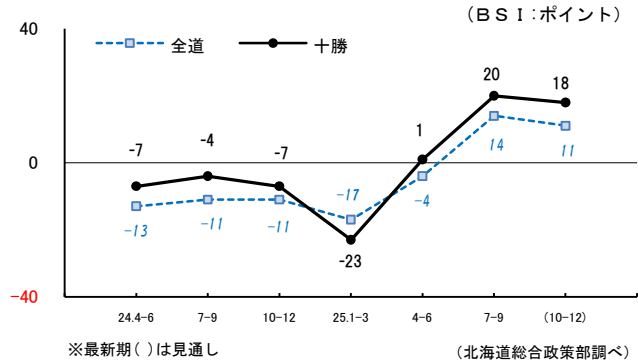
◆公共工事請負金額 (11月)◆  
8か月ぶりに前年を下回った



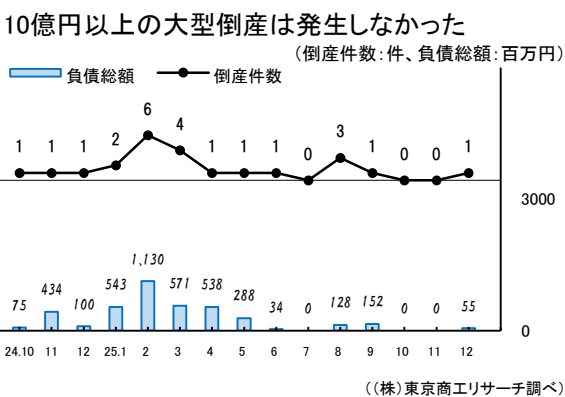
◆航空機利用による来道者数(着地別) (11月)◆  
2か月連続で前年を下回った



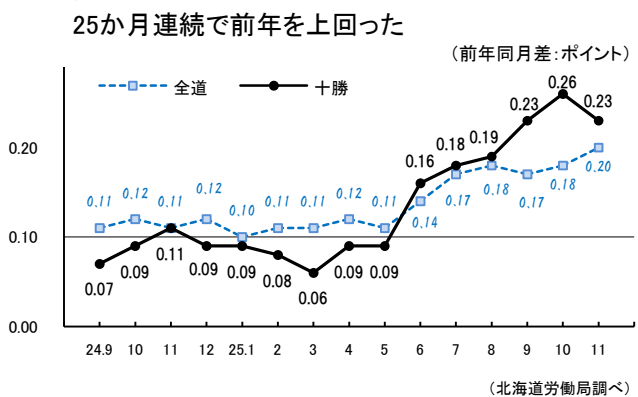
◆企業の業況感 (7-9月期)◆  
前期からプラス幅が拡大した



◆企業倒産 (12月)◆



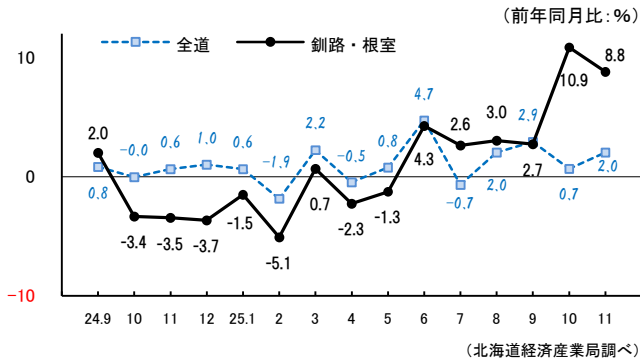
◆有効求人倍率 (11月)◆



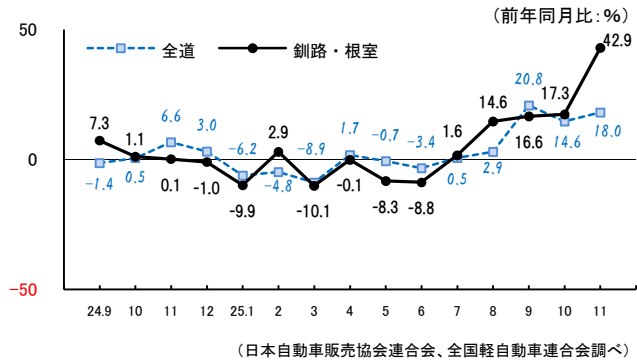
## ■ 地域の経済動向

### 釧路・根室圏

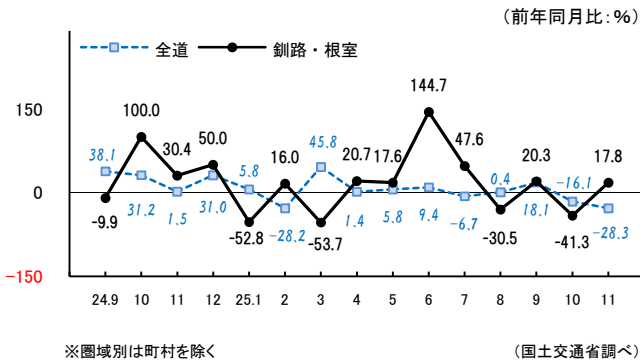
#### ◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (11月)◆ 6か月連続で前年を上回った



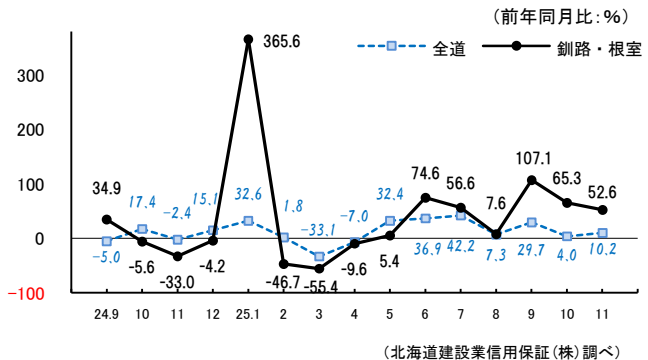
#### ◆新車登録台数(乗用車) (11月)◆ 5か月連続で前年を上回った



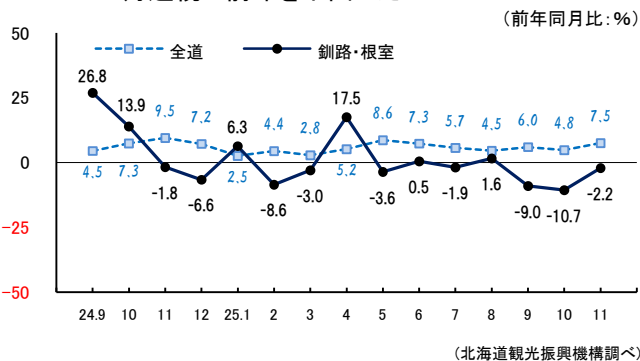
#### ◆新設住宅着工戸数 (11月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



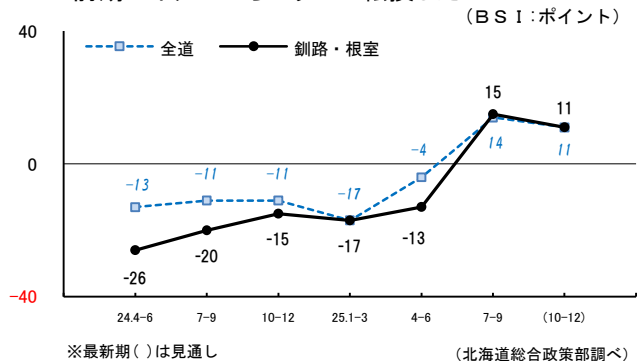
#### ◆公共工事請負金額 (11月)◆ 7か月連続で前年を上回った



#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (11月)◆ 3か月連続で前年を下回った

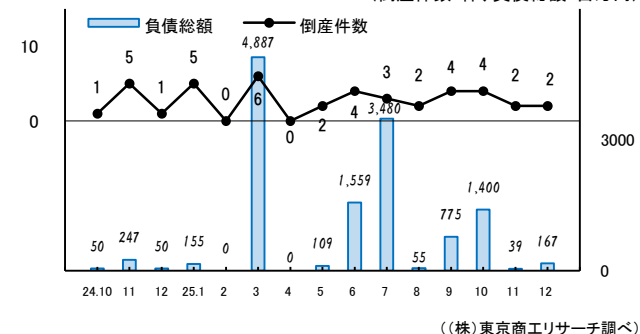


#### ◆企業の業況感 (7-9月期)◆ 前期マイナスからプラスに転換した



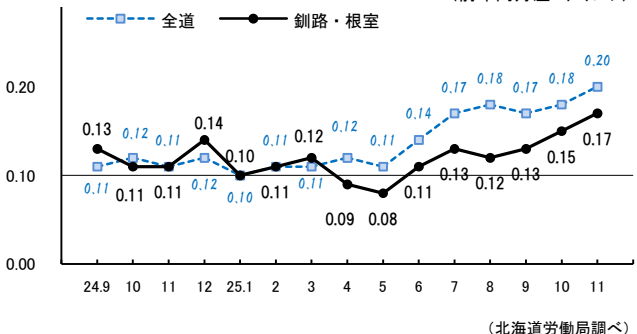
#### ◆企業倒産 (12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (11月)◆

48か月連続で前年を上回った  
(前年同月差:ポイント)





## ■全国の景気

～景気は、緩やかに回復している。～

＜内閣府月例経済報告(平成26.1.17)から＞

### 我が国経済の基調判断

- ・輸出は、このところ弱含んでいる。生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。設備投資は、持ち直している。
- ・企業の業況判断は、幅広く改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・個人消費は、一部に消費税率引上げに伴う駆け込み需要もみられ、増加している。
- ・物価は、底堅く推移している。

先行きについては、輸出が持ち直しに向かい、各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動が見込まれる。

### 政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「経済財政運営と改革の基本方針」に基づき経済財政運営を進めるとともに、「日本再興戦略」の実行を加速化し、強化する。また、経済の好循環の実現に向け、「好環境実現のための経済対策」を含めた経済政策パッケージを着実に実行する。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

### 各論

- ・個人消費は、一部に消費税率引上げに伴う駆け込み需要もみられ、増加している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・住宅建設は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあって、増加している。
- ・公共投資は、底堅く推移している。
- ・輸出は、このところ弱含んでいる。輸入は、持ち直している。貿易・サービス収支の赤字は、増加傾向にある。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、幅広く改善している。倒産件数は、緩やかに減少している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・物価は、底堅く推移している。
- ・株価(日経平均株価)は、16,000円台から16,200円台まで上昇した後、15,800円台まで下落した。対米ドル円レートは、104円台から105円台まで円安方向へ推移した後、104円台まで円高方向へ推移した。

**最近の経済動向**  
平成26年1月号

---

**編集・発行 北海道総合政策部政策局経済調査課**

**TEL 011-204-5139**

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>